(日曜日及祭日休刊)年中無休刊 大正七年十月五日 THE KEIJO NIPPO (明治三十九年八月十日第三種郵便物認可) 第三千九百六十三號 (一)

京城日報

本紙定價 壹部金參錢 壹ヶ月金七拾五錢▲郵税共 參ヶ月前金▲六ヶ月同▲壹ヶ年同
廣告料金 五號十五字詰一行一圓五十錢▲特別二號二十字詰
發行兼編輯人 奥田直
印刷人 小川ヨ之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 編輯用 營業用

十月四日夕刊 (朝夕併せて八頁)

黒龍州方面戰報

△船橋枝隊鹵獲物

其筋着電＝黒河方面に派遣せられたる船橋枝隊の九月十八日より同二十二日迄に鹵獲せるもの左の如し(東京特電)

汽船五隻、貨車三十輛、自動車五臺、小銃五百十二挺、機關銃一挺、銃劍百一口、槍約千二百本、電話器二箇、圓匙四十六箇、彈藥十七箱、其他多數の拳銃、背包等右の外野戰枝隊步兵と共に鹵獲せるもの小銃六十六挺、銃劍十五口等なり

貝加爾方面戰報

△ウ市重要地點

＝我軍の到着せる＝

第三師團の一部はチタより西進し既にウエルフネウジンスクに到着せることは既報の如くなるが該地は軍事並に交通上頗る重要の地點なり其位置たるや貝加爾湖の東岸に在り烏拉爾地方に作戰する聯合軍の爲め西伯利鐵道並にエニセイ、オビ兩河の水運を掌握し(湖上汽船を通ず)人員兵器及び軍需品を輸送するには最も樞要の地にして地勢上よりするも該地はイルクツクと共に貝加爾湖に依りて東西西伯利に分れ湖畔斷崖多く一夫之れを守れば萬卒之を拔く能はざる險要なりと(東京特電)

◇我軍食料供給

—黒龍州住民に對し—

聯合軍司令部發表—黒龍江鐵道沿線地帶は戰禍の爲め極度の物資缺乏状態に陥れるを以て軍司令部に於ては黒龍州住民に對し麥粉、砂糖食鹽等を供給すると共に醫療を引受けつつあり(東京特電)

◇過激首領捕縛説

浦鹽來電＝風説に依れば過激派首領クラスノシチョーコフは聯合軍の捕ふる所となれりと但し未だ軍司令部よりは右に關し何等の發表なし(東京特電)

◇今後戰局に對する注目

巴爾幹の一角に集らん

勃牙利の休戰と土國の態度

勃牙利は聯合軍と休戰を爲したる結果聯合側と共に獨墺側に對抗すべき形勢となりたるが之れが爲め土軍は獨墺軍との聯絡を切斷せられ其結果是亦聯合軍に和約の提議を爲すの止むなきに至るべく茲に於てか中歐同盟は巴爾幹の一角より崩壞し遂に全局に太影響を來し獨逸をして益窮地に陥らしむべしと觀測する者あるも陸軍部内の觀測に依れば今日のところ尚ほ未だ容易に樂觀を許さざるべし何となれば獨逸としては形勢斯の如くなりたる以上種々の苦肉策を廻らして對勃關係の回復を計るなるべく差當りクリミヤより大部隊を輸送し更に伊國戰線の軍隊を墺國より派遣し且つ五十萬の豫備軍を同方面に輸送するに至らんか聯合國軍隊は能く是に對抗するを得べきや否や多少懸念無しとせず彼我の軍隊輸送力は獨墺軍は一條の鐵路に依り聯合軍は海軍に依らざるべからず縱令其輸送力は優劣無しとするも聯合軍は軍隊派遣に關し獨墺に比して其方法劣れるの觀なきに非ず場合に依りては獨逸をして形勢挽回の機を與ふるが如き成行を招致することなきを保すべからず兎に角今後戰局に對する注目は巴爾幹の一角に集中せらるゝものと見て差閊へなかるべしと(東京特電)

◇婦人選擧權否決

米國の婦人選擧權法案は今回上院にて否決されたり(華盛頓電報)

◇積極的時局解決

徐世昌氏は左の手續に依り就任後積極的に時局解決を行ふ可く決定せり(北京特電)

(一)就任と同時に大局に對する意見を宣布す(二)命令の發表に據らず或方法に依り兩軍を停戰せしむ(三)南方より過失を悔ゆるの電報あるを俟つて直ちに停戰和議の命令を發す

◇次官初顔合

三日各省次官初顔合せを爲したり(東京特電)

◇海軍將官異動

海軍省にては近く練習艦隊司令長官に更迭を行ふべく十二月の定期異動に先たち中野艦政局長は鈴木練習艦隊司令長官の後を襲ひ岡田中將は新に艦政局長に就任すべく右の外二三將官の異動あるべしと(東京特電)

◇新聞檢閲局

結局廢案に決定

寺内内閣時代に於て臨時新聞檢閲局新設の議あり屢々法制局に於て内務省の立案を審査し該官制は近く發表の筈なりしも政變の結果之が實現を見るに至らざりしが現内閣に於ては斯かる官制は實効を期し難きを以て結局廢案となすに決定したりと(東京電報)

◇リ公浦鹽出發

浦鹽來電＝浦鹽に滯在中なるリヴォフ公は二日浦鹽發大阪商船鳳山丸にて日本に向ひたり公は露國に於ける最も敏腕なる政治家にして大なる勢力を有し居れり渡日の上露國の現狀につき日本政府と協議すべしと(東京特電)

◇希臘公使著任

希臘公使デー、リー、ヴエレニキス氏は二日朝横濱著の郵船加茂丸にて著任せり(東京特電)

◇東京株式活況

東京株式市況は新内閣歡迎見越にて過般來多少好勢歩調を呈したるが原内閣の政策未發表、勃國講和提議等にて暴落を演じたるも却つて灰汁抜けとなり二日の市況は砂糖株の買氣復興を動機に一齊高の氣配となり結局東株十圓砂糖五六圓乃至七八圓其他一齊に活躍し東京製鋼株は十六七圓方奔騰し尚一段の買氣を喚起せんかの形勢なり(東京特電)

◎段總理の進退

▲辭職如何 馮總統が十月十日の任期滿了と同時に自然退職となり徐新總統が代りて就任す可きことは最早疑ひなき處なるも段氏は尚ほ甚だ明瞭ならざるものあり尤も一般には段總理の辭職を期待し段總理自身も亦一再ならず辭職を聲明し最近に於ても段氏は後任として田文烈氏を推薦せりとさへ傳へられつゝあるも尚ほ且つ段氏が確く正に平穏に退職するや否やに關しては幾分の疑ひを挾みつゝある向き少からず即ち段氏自らは辭職の意ありとするも段氏を圍繞せる徐樹錚氏等一味の策士が段氏の失脚を默過して已む可きや否や甚だ疑問なりと云ふ可く例へば梁士詒氏の如き妥協意見を持し南北に比較的氣受け好き氏が國務總理に就任するの意あり且つ徐世昌を始め一般に其の蹶起を希望したりとするも徐樹錚氏一派の妨碍を排除して克く其の目的を遂げ得るや否や聊か危まると云ふに在り

▲威望失墜 然れども段祺瑞氏の威望は今や一部軍人社會のみに局限せられ段氏にして退かざる限り南北の平和接近は所詮望み無しとして一般には段氏の退任を望みつゝあるのみならず其の實際に於て寺内内閣の瓦解が延いて段總理の立脚地を一層危殆ならしめたりともいふべし原内閣の對支政策に關しては未だ明確に之を知る能はず寧ろ大體に於て前内閣の方針を踏襲するならんかと觀察せられつゝあれども其の實際に當りては多少手心を異にす可く豫期せられつゝあり之を要するに段氏は支那の大勢よりするも將た我新内閣の對支政策よりするも到底復た從來の勢力の維持し難かる可し急に失脚せざる迄も其退職は早晩免れざる處なる可く結局段氏は參戰督辦として同次長徐樹錚氏等と共に徐に後企を計る事となならんかと觀測さる

◎政務總監東上

山縣政務總監は長谷川總督の歸任を俟ち近く東上すべしと

◇新内閣國防案

結局は增稅乎

原内閣の解決を待つべき諸懸案は頗る多く當面直ちに著手せざるべからざる大問題を擧ぐれば對支政策の變更、西伯利出兵增大計畫の可否、物價調節問題、國防充實計畫等孰れも

▲重大難問題 にして其の處理の是非巧拙は暫く別問題として兎に角原氏は必ずや之が實行を期すべく努力するならん今國防充實計畫方面を觀るに海軍部内の有力者に依りて唱へられつゝある所を綜合すれば大正八年度より計上さるべき既定計畫以外の新事業費は恐らく一億二三千萬圓を下らざるべく此費目は主として工廠改良費として要求するもの、如し其主張に從へば時局の影響を受けて造船業は著しく發達したる傾向あるも此形勢を戰後迄維持することは到底望む可からず縱し

▲戰時の傾向 を戰後に持續し得るとしても米國の如きは大計畫大規模を以て盛んに造船を急速ならしめ居れり故に戰後の平和戰に於て之に對抗するは困難なりとするも成るべく之等の大勢に順應せんとせば現在に於ける海軍の造船造兵製鋼能力を二倍とするの方針を樹立せざるべからず而して平時に於ては商船を製造するも宜かる可く而して之を一般會計より特別會計に移して機宜敏活の措置を取るの要を認むと云ふに在りて直ちに之が實現を見るは困難ならんも又以て海軍方面の國防方針を窺ふに足るべし陸軍の明

▲八年度豫算 の要求すべき今後の新事業費(既定計畫以外の)として大約一億圓を下らざるべく該費目は軍團編成費及び特科隊增設費にて是れ又時局の重大に鑑みて是非とも遂行せざるべからず加之諸物價の騰貴より勢ひ陸海軍豫算は軍備充實計畫を加ふる時は益巨大のものとなるべく結局增稅を行はざるべからざるべし新内閣が如何なる方針を立つるやは特に刮目に値す可しと某消息通は語れり(東京)

◎始政十年 博覽會

大正十二年に開催

總督府にては來る大正九年は恰も始政十年に相當するを以て大規模の記念博覽會を開催する計畫なりしも準備其他の都合上之れを延期して來る大正十二年目下新築中の總督府新廳舍の落成を機とし京城に開催す可く決定せり

◎郵便規則改正

既報の如く總督府令第九十五號を以て朝鮮と内地臺灣樺太及び支那間郵便規則中改正の件公布されたるが改正の要點は從來郵便局に於ける取扱中に亡失若くは毀損したる郵便物の損害賠償並に料金還付を要求する場合は萬國郵便條約の規程を準用しあるも然もその方法なく屢々不條理なることなりたるを以て今回差出人が損害賠償を求むる場合はその差出郵便局に又配達を受けたるものが損害賠償を求むる場合は配達郵便局に之れをなす事に決定せしものなる旨島田通信課長は語れり尚ほ右改正規則は四日より施行されたり

◎市街地指定金融組合

十月一日附總督府告示第二百二十九號を以て金融組合令第五條第二項の規程に依る市街地は左の通り指定されたり

▲京畿道 水原郡水原面、開城郡松都面
▲忠清北道 清州郡清州面
▲忠清南道 公州郡公州面、大田郡大田面、論山郡江景面
▲全羅南道 羅州郡羅州面、光州郡光州面
▲慶尚北道 金泉郡金泉面
▲慶尚南道 晋州郡晋州面
▲黄海道 海州郡海州面、黄州郡松林面
▲平安北道 義州郡義州面
▲咸鏡南道 咸興郡咸興面

◎定例長官會議

四日午前十時より總督府第一會議室に定例長官會議を開き山縣政務總監を始め各部局長官並に所屬官署長參集諸般政務に就き夫々審議する所ありたり

◎國勢調査議了

四日午前九時總督府第一會議室に於て昨日に引續き國勢調査會を開き各評議員參集審議する處ありたるが本會議を以て朝鮮に於ける國勢調査規則の全部を議了せり

◎仁川稅關長後任

仁川稅關長は嚮に鎭南浦銀行理事に就任せる櫻井小一氏退官以來釜澤同稅關事務官稅關長事務取扱を命ぜられ缺員の儘なりしが仄聞する所に依れば總督府專賣課長平井三男氏の任命を見る可く近く發表さるべしと

◎間島行警官 辭令

九月二十五日附辭令を以て京畿道警務部勸務警部小松寛美氏外警部四名巡査九十名外務省警部及び巡査に轉勤を命ぜられたり

◎京釜電話新設

先づ京城大田間

京城釜山間の長距離電話は數年前開設の當初に於て一日數通話に過ぎざりしも近年朝鮮財界の發展に伴ひ各地商取引の漸次密接を加へ來りたる關係並に地方行政の發展等は京釜間電話線の使用頗る多きを致し本年に入つては通話申込後通話し得らるゝまでに三四時間を要する事珍らしからず一般の不便尋常ならざるを以て遞信當局にてはその間の調和策として京釜電話二番線の計畫を立て大正八年度よりその實行に着手すべく所要經費を明年の豫算に計上したるが明年の架設區間は多分京城大田間なるべく大田以南は明後年に讓らるゝ事ならん然らば京城大田間の新設により京釜電話線の輻輳混雜は頗る緩和し得らるべしと

◎水田地價騰貴

今夏來米價の騰貴相應じ最近は堡壘強きを以て近來地價の昂騰は著しきものあり尤も最近に於ける地價の呼び値は多く行はれず又内地大手筋等の買進みは殆んどなく唯僅に鮮人間の取引に過ぎざる位なれど南鮮方面にては中田にして一反步百五十圓を稱するは珍らしからず上田に至つては二百四五十圓乃至三百圓以上を唱へつゝあり唯籾の値頃が石十六七圓を稱する今日より見れば其四石内外を生産する上田の三百圓は必ずしも採算外れの高値と稱し難く數年前農民の苦しみたる如き事は今後絕無なりと稱して可なるべく朝鮮水田の價格前途甚しき低落の虞ありとは稱し難きも昨今の急騰へは多少の減退を要すべく東拓の如き又前時代の各農銀の土地金融は其價より餘程切り込みたる幸ある値頃と認定し貸出しをなしつゝありと

◎八月中の穀價

八月中に於ける朝鮮各地の穀價に就き總督府商工課に於ける調査を聞くに米は内地市場の暴騰内地商人の大口買出し及び浦鹽出兵等に煽られ前月來強硬を示したる相場は八月に至り益激昂となり平均價格正米三十一圓餘精米卅五圓餘の高値を現出するに至れるが調節の結果下旬に至り漸く緩和し低下の氣勢となれり之を前月に比すれば籾二圓九錢玄米六圓四錢精米七圓二十四錢の騰貴を示せり次に大豆麥は前月に引續き低落を示したるも米價の氣配に伴ひ急轉して好景氣となり前月に比し大豆七十七錢大麥一圓八十五錢小麥一圓十九錢の騰貴を示せり今鮮内各地に於ける精米大豆大麥小麥の上物一石の價額を示せば左の如し

地名	玄米(圓)	精米(圓)	大豆(圓)	大麥(圓)	小麥(圓)
京城	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
清州	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
公州	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
論山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全州	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
群山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
光州	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
木浦	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大邱	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
晋州	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
釜山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
馬山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
海州	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
沙里院	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平壌	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鎭南浦	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新義州	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
義州	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
春川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
江陵	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
元山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
咸興	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
清津	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
城津	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平均	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

之を大正六年同月の穀價に比較するに玄米六割六歩、精米五割七歩、大豆三割、大麥五割二歩、小麥五割四歩の高率となり更に大正五年の同月と比較すれば玄米十五割九歩、精米十四割二歩、大豆八割三歩、大麥十三割三歩と云ふ未曾有の高率を示せり

◎軍事郵便注意

第三師團並に第十二師團その他に於て應召せられし在鄕軍人は全部西伯利に出征はし居らず留守部隊に殘留せる者も亦少からず然るに一般に於ては出征と留守とを問はず應召者に對する郵便は軍事郵便として無料に遞送せらるゝやうの考へを持し居る者あるやなるが出征者に對する郵便は無料の軍事郵便にて可なれど留守隊所屬者宛の郵便は相當切手の貼附を要する由に付注意すべしと

◎仁川尚ほ休會

仁川米豆取引所にては四日も亦引續き休會したるが九月限の解け合ひ談あり經過の如何或は大阪期米の相場は當限四十一圓五十錢の新値を現はしたる等にて氣配險惡に付立會停止は尚ほ引續くべしと觀せらる

◎愛婦常務委員會

愛國婦人會朝鮮本部にては三日午後一時より事務所に於て常務委員會開催慰問袋集配の現況報告の後慰問品代金寄附者に對する購入品等に關し種々打合せを爲し散會したるが慰問袋は京城龍山のみにて既に一萬四千二百餘袋に達し内慰問品代金にて寄贈せる額五百餘圓に上れり

◎三阪小學校設置認可

金谷京城府尹より申請中に係る京城三阪小學校設置の件は十月二日附を以て認可の指令ありたり

◎加藤少將入京

海軍少將加藤寛治氏は岩下海軍大尉を隨へ四日朝入京天眞樓へ投宿したり

◎内藤博士動靜

滯京中の内藤湖南博士は既報の如く三日午後四時半より龍山鐵道青年會倶樂部に於て講演をなし其より朝鮮ホテルに於ける京城管理局主催の晩餐會に臨み四日夜大連に向け出發の筈

◎鮮銀總裁東上期

歸鮮中の美濃部鮮銀總裁は五六兩日中に出發東上すべしと

◎馬越氏出發

入京中の馬越恭平氏は四日午後九時四十分發列車にて北行すべし

◎米山事務官退官

元山稅關清津稅關支署長米山喜源太氏は今回一身上の都合により退官したり

◎遠山氏鮮銀に入る

朝鮮殖銀支配人を辭したる遠山熙氏は内地歸還の噂ありしも今回鮮銀に入る事となりたり

人事消息

○手塚調事務官嚴父 遞信局事務官手塚氏の嚴父は二日東京の自邸に逝去せるより氏は目下忌引引籠り中なり
▲中田孝之助氏(木浦商議會頭) 滯京中の處四日朝退京
▲日下義雄氏(第一銀行京城取締役) 四日朝釜山へ向け出發五日夜歸京の筈
▲關長官一行 李王職關長官及び尹澤榮氏の金剛山遊覽一行は四日午前七時十分南大門驛出發
▲藤野正年氏(代議士) 四日午前釜山上陸同十時半發北行
▲川隈五十雄氏(セウルプレス社長) 四日朝釜山上陸同十時三十分發北行
▲小田組課長 水原勸業模範場へ(三日附)出張を命ぜらる
▲岩城信太郎氏(總督府土木局技師) 二日附四日間の豫定にて楊州郡へ出張を命ぜらる
▲佐賀縣事業視察團一行 三日夜入京
▲三重縣事業視察團一行 四日朝入京總督府、商品陳列館、女子高等普通學校視察
▲大村書記長一行 大連商議聯合會議出席のため出張中なりし大村書記長一行は三日夜歸任

茶前酒後

◆巴爾幹の一角崩る。敗潰最早之を支ふべからざるの形勢を示せり。休戰提議にて、無條件降伏を示せる勃國は、國王フエルヂナンドの退位となり、太子ボリス即位す。ボリスは當年二十四歳の青年也、而して此難局に處せんとす。「實に勃國の危機也」存亡に關する處、國内人心の恟々懷ふべし。

◆獨墺の後援隊既に勃國に向つて發す、而も勃國は既に降伏の情態にあり、遲かりし由良之助の觀無きに非ず。然れども人心既に獨墺と離隔せし以上、獨墺の援助も、何等の效果を奏せざるべし。

◆勃國既に斯の如し、孤立無援の土耳古如何。孤城落日の彼も亦、聯合國に對して、休戰を提議せりと。蓋し土國の此の提議も、勃國と同視するを得べき理由を存す。聯合國亦勃國に對すると、同樣の手段を取るべし。

◆勃、土既に此情態にあり、「憔悴せる墺匈國の民心果して如何。而して獨逸が此の形勢より見てか、羅馬尼を抛棄せんとす。中歐同盟に於る、巴爾幹の獨墺勢力は、斯の如くにして、漸次驅逐せられつゝあり。

◆吾人は勃國の休戰提議と共に、連合軍の重大なるを論ぜり。而して吾人の所觀が、漸次的中し來れるは、獨墺に取りては不幸ならんも、聯合軍の爲めには祝すべく慶すべき也。

◆西部戰線に於ては、英軍既にカンブレーに達し、米軍の先鋒はヒンデンブルグ線に殺到し、佛軍は進出、攻勢を繼續し、士氣日に振ひ、頗に向ふ處敵無きの状況に在るや、獨逸の有する五十萬の豫備軍は何を爲しつゝあるや。

◆此時此際、獨軍は何を爲しつゝある。獨逸は何を爲しつゝあるや。颱風の殺到せんとする前の小凪か、小凪として、餘り時間の長きに失す。然らば獨逸は如何にして、形勢を盛返さんとするか。勃國に失ひたる獨逸勢力を、如何なる方法を以て回復せんとするか。吾人は注意を怠らざる也。

◎一錢銅貨を喰つて廿錢銀貨を生む

まさかに銅貨を喰つたり銀貨を生んだりはしないが、一錢の餌を與へれば鶉は二十錢の卵を生む。それで肉は最上の料理となり、卵は不思議に諸病を治し、聲は、鶯よりもよいと云ふので養鶉は近頃大流行である、特に面白いのは「内職を禁ぜられてゐる警官の家庭が諸物價騰貴に泣いて居るのに東京新宿方面の巡査の家庭だけは困らない、其れは近頃流行する鶉を飼養してゐるからだと云ふ。鈴木搜査係長が新宿署長であつた時分慰みに數羽の鶉を飼つた、それを眞似て今は百六七十名も居る署員の家庭に鶉の聲の聞えぬのが珍らしい位になつた。十羽も飼つてゐる家では默つて一圓七八十錢の收入がある、資本は巣鳥が二圓四五十錢、種卵が十個三圓餘、それと籠と餌さへ買へば十羽の飼育が出來る、皇宮警察の某警手は一兩年中に數千圓儲け天晴鶉成金となり澄ましてゐる」(八月五日萬朝報)市内の官公吏でもこの通り流行んでゐる地方の人々には最もよい金儲けになる、飼育法や卵の販賣法等は東京神田表神保町十帝國家禽會發行の新式養鶉講義録を讀むが一番よい。ハガキにて同會あて申込めば鶉の話や講義録の規則書など記載せる冊子を無代にて進呈する。

廣島名產 山まゆ織
見本中越次第無代送呈
廣島市平田屋町電一八二五
山脇喜久二商店
振替口座東京一六六五六番

今—今—今
十月五日より當分の間
御買上金高
金拾圓以内 壹割引
金拾圓以上 金參拾圓以内 壹割五歩引
金參拾圓以上 貳割引
▲但し現金の事木綿物は右歩合の半額引
京城明治町
唐川呉服店
電話二六一番

優等清酒

釀造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話一〇三九番 振替口座四二九番
樽買御斷り

＝原内閣と期米＝
正米と相接近せる期米は既に絶頂點に達せり次で來るものは唯低落あるのみ、後繼内閣は極力米價調節に努力し衆望を得んとす可く、加ふるに十二月限は新穀出廻期なれば其低落は既定の事實也、茲に第八回を組織す風雲に乘ぜんとするの士速かに來會せられよ
■加入金一口三十圓■申込期間十月十六日
日本信託商會證券部
第八回 期米賣同氣會
▲會則進呈▲
大阪市北區堂島濱通一丁目一二 電話北長九七二・振替大阪四〇五六九

銀鉛鑛 亞鉛鑛 買入
御賣鑛者に對し精々御便宜取計可申候多少に不拘御申越相成度候
京城黃金町二丁目百四十八番地 商品陳列館の下 電話一四六四番
鑛業信託 明星商會

大正七年七月一日改正

西伯利從軍記

▽敵影を追うて(一)

行けども〳〵大森林!!!

熊と人間の混血兒のやうな驛長との著く驛々で大谷大將の布告文を配付

爆彈を投下した我飛行機

從軍記者 金谷眞

ハバロフスクを出發して敵の根據地アレキセーフスカヤ及びブラゴエチエンスクに向つたのが十七日の夕刻、これから黑龍江を渡つて愈黑龍江線に向ふのである、十八日の朝眼が覺めると汽車はロンドコ驛に著いて居つた、四邊は一帶の平地に白樺や樅や落葉松の密林で

▽寒い朝霧が 淋しい停車場の雜物を閑むで居た、自分等の軍用列車は徒歩の先鋒隊を除いては一番先頭に進むので時々向ふからの汽車を待ち合せねばならなかつた、廣い野原は一帶に黃色に霜枯れて白樺の葉も黃色、樅の梢も黃色、それに眞紅な紅葉も見ゐる、樹は一樣に丈高く延びて電信柱のやうにスイ〳〵と立てゐる、時々森の向ふに低い山が見ゐる、白い煙の棚引くのは黑龍州の炭燒かと見ればそれは白雲の搖曳するのであつた、驛の附近には白樺の薪が山のやうに積み重ねてある

▽永い冬籠り の燃料の用意であらう、驛員も自然の子、家もまた油畫中のもの、時々軌道を走る汽車より他には誰一人として訪ふ者もあるまい、驛長に向つて『此處に熊が居るか』とメヂエーギが居るか』と四ツ這ひになつて訊ねて見ると『然り〳〵!澤山!』とニコ〳〵する、見れば先生も熊と人間の混血兒のやうな野男である、それより二時間許りして汽車は出たなる程、黑龍州の密林中だなと一人で感心してゐる間に軍用列車は白煙を吐きつゝ進む、行けども行けども山の中、行けども〳〵大密林!!!それが紅、黃、綠と混ぜて

▽碧い流れと 野菊の花を點綴したあたり、雄大なる自然の大油畫である時々黃いろい蔦には枯れ朽ちた大木が横たはつて可愛い栗鼠が首を出すベロカンといふ驛なども水車や森で畫中のものであつた。キムシカも油畫であつた。自分はこんな大きな秋光を見たのは初めてゞあつた、黑龍鐵道は最初一九一一年後貝加爾方面のクエンガ驛からはじめて此の邊ボチカレオい、ハバロフスク間は四年前に開通した、まだ大古のまゝの密林があるのも無理はない、正午頃アブルツエ驛に著く、汽罐車があつて部落があつて山中としては相當の驛である、プラットフォームで

▽湯を汲みつゝ 熊狩りの獵師と雜談をする『熊が居るか』『澤山居る、冬季此の驛から一里ばかりの山に行くと小牛大の奴が獲れる』『幾程位に賣るか』『一匹四百留毛皮は一枚百二十留位……雪は二三寸しか積まぬが風が吹き荒れて嚴寒にはとても仕事は能きぬ、雜貨屋は二軒あつて一つは露人、一つは支那人、商品は對岸の北滿洲から輸入する、此處の先祖は今から五六十年位前に來た者が一番古い、職業は主に黑龍鐵道の從業者と枕木出しと獵師と農夫……』と物語つた、午後五時ランズル驛著、守備の

▽日本兵士が 四五人居るから『淋しいだらう?』と訊いて見ると『此の驛から三四里の地點にイワノスケ金鑛があつて露支人共に六百人居る、糧食は皆地から送るから多くは過激派の落武者だと思ふが此の兵力では何うするとも出來ません、現に四日前自分等の著いた當夜も此處で四人の過激派を捕へました……』と答へた、汽車は淋しい驛、黃色の野原、紅葉の密林を過ぎつゝ行く、途中二三箇處汽罐車の衝突したのや轉覆したのを見た、トンネルの入口は日本兵が守備して鐵橋にも立つてゐる、線路工夫の中には朝鮮人が多いから『ヨボ!!!』と呼んで見るとなつかしさうにニッコと笑ふ、著く驛々では大谷大將の布告文を渡すので撫武者の路助君や

▽頬冠りの女 が集まつて見る十四日の月が出た、風は京城の十一月末のやうに冷たい、アルハラ驛に著いた時月は愈冴ゐ渡つた、思ふに日露戰役の露國の黑龍江州に對する經營は實に盛んなものであつた、黑龍鐵道万百十邦里間の工費は約三億萬留、その大雄圖は感嘆に値するものである、鐵路の通ずる限り元より此處は支那の領土であつた、今から六十一年前支那人は愛琿條約によつて遂に黑龍江州を露人の手に委した、廣い野原には鴻の飛ぶ影が見ゐる、航空隊を訪ふて見ると月光水の如き原に各〇〇式とソッピースが並んでゐる、翠にも青い月光がふりかゝつてゐる、黑龍江州の夜風は戎衣の肌に寒い、隊長中西大尉は今日の武用中尉の大飛行によりボチカレオ附近の敵に

▽七個の爆彈 を投下した事を語つた、停車場司令官は『今朝ブラゴエが占領されましたよ』と云ふ『ハバロフスクから溯航した野澤工兵中佐の枝隊が占領しました』と言ふ『アルハラの電信局長は此の吉報を手にして村の露人にも見せませうかといふから宜ろしいと答へるとかたに貼出してゐました』と語る汽車は再びドミカン驛さきの破壞された橋際まで進んだ(九月十八日夜)

★黑龍江伯の銅像

哥薩克兵村を造つた偉人

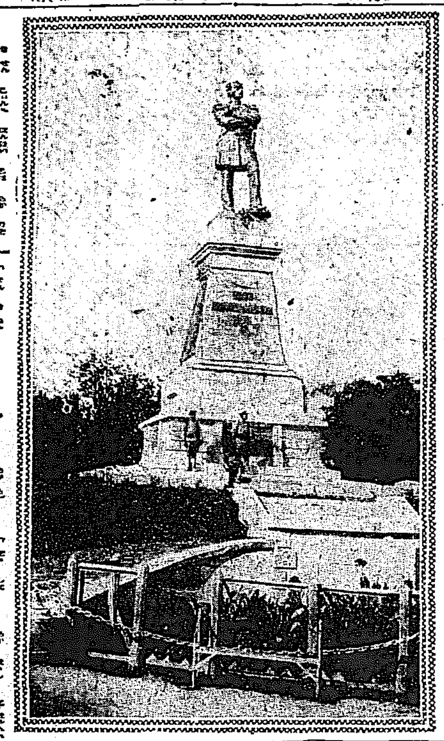
銅像の下に立つ武裝の日本兵

ムラヴィヨーフ、アムールスキーの銅像はハバロフスク公園の突角に立つてゐる、脚下には關門海峽より廣い黑龍江の水と烏蘇里河の水とが相合し、美しい汽艇や戎克の帆影も遠く近く眺まれる、眼を放てば遙かに霞む

▽吉林省 の連山と茫々黑龍江畔の大原野とが見ゐる、河水の水天髣髴する間に續く地平線の壯觀はムラザヰヨーフ黑龍江伯の巨像は地圖と望遠鏡を手にして遙かに南方を睥睨しつゝ突立つてゐる、臺石には一八九二年の文字が鑄つてある、今から二十七年以前に記念されたものと見ゐる、黑龍江伯は言ふまでもなく沿海、黑龍二州に哥薩克移植の

▽大計を 立てたる偉人、今から約六十七年以前貝加爾から此の方面にかけて主として支那に境守備の爲め多數の哥薩克兵村を作つた人であつた、黑龍江の名は朝鮮語の水から來た大きな河といふ意味とも云ふ、これも昔しから朝鮮人の爲めに流れてゐた河かも知れぬ……遙かに南方を望んだアムールスキー伯に對しては洵に

▽失禮な とは申すやうだが



……銅像の下なるは赤い帽子の日本兵然り確かに日本兵更に繞り返せばハバロフスクーのムラザヰヨーフの銅像の下に武裝のまゝで立つてゐるのは確かにこれは日本兵である(ハバロスクにて金谷眞)

○空には飛行機 地には白兵戰

高師原陣地攻防演習 眞に骨鳴り肉動くの壯觀

一日天白原に露營を張りたる南北兩軍は二日午前一時天白北方に於ける猛烈なる戰鬪に火蓋を切り北軍は惡戰苦鬪の結果第三攻擊陣地を占領し四顧暗澹たる中に好都合の

探照燈を以て應戰しつゝ

作業に著手し南北兩軍共互に夜を徹したり黎明兩軍の士氣旺るや北軍先づ行動を開始し拂曉既に第三攻擊陣地を高田山西側の丘陵に移し高懸け山高田山の門地より田之屋西側の高地に沿ふ戰鬪線を占領せり之れより先三八式十五珊榴散彈と四年式同型

速射砲の威

力比較研究 を爲す可く北軍は黎明時に砲列を敷き盛に彈攻擊を開始したるが一戶統監は山梨中將以下を隨へ海鼠高地に立ちて双眼鏡を手にし終始彼我の狀況を觀望せり此間北軍飛行機は互に彈飛來する敵陣地の上空を掠めて彈著並に威力の效果を觀測し之れを報告し之に對し南軍は北軍を

飽迄手許に引寄せ全力

を擧げて殲滅せんとし茲に兩軍は必死となりて機關銃を亂射し手榴彈を投げ宛然たる白兵戰を演じ相對時して夜に入れり(東京特電)

□優渥なる御沙汰を賜ふ

一戶統監奉答

天皇陛下には一日『内山侍從武官長を差遣され出征狀況を調査せし』旨の御沙汰あり右に對し一戶統監は『優渥なる御沙汰を賜り感激に堪へず』との御禮を電奏せり(東京特電)

○噂許りで姿を見せぬ

繭商殺し都野川の身柄 警察でも非常に迷つて居る

◇三日夜 九時十分南大門驛著の北行列車で繭商殺し犯人都野川義夫が護送されて來る筈になつて居たのが如何した理由か同列車には犯人の姿が見ゐなかつた、同夜本社釜山支局發の電報に依れば同日朝入港の連絡船では犯人が上陸しなかつたから多分同日夜入港の連絡船で上陸し四日朝南大門著の列車であらうと報じて來たことは四日の

◇朝刊に 掲載しておいた如く更に四日朝本社釜山支局からの電報に依れば今朝入港の連絡船からも犯人は上陸しなかつたと云ふすれば今晩南大門驛著の列車でも犯人は到著しないことになる、此點から推測すると之れは本社著の電報に依つて推測するのであるが警察署でも其後確かな報知に接しないとあつて非常に

◇迷つて ゐる犯人護送中の佐々村刑事からは本紙既報の通り二日に大阪を發すと云ふ打電があつたので順當に行けば三日夜南大門に到著するのが當然である、然るに其後詳細確實な報道がないとすれば途中何等かの支障でも起つたのか如何云ふものか警察署にも確かな報知があるまでは犯人到著の時日も判らない

傘の山

四日の朝も非常な人出

▽待ち呆けを食つた 雨がポツ〳〵降つて居る四日朝九時前後から南大門驛や本町警察署の前には傘を翳し或はずブ濡のまゝで大勢の人が押し寄せ九時二十五分南大門驛著の北行列車が著いた時には同驛から警察署迄の沿道は見物が堵を成して居た。これは三日夜に犯人が到著しなかつた爲め多分今朝到著するであらうと思つて見物に出掛た人々である。しかるに今朝も犯人の姿は見ゐなかつた。

繭屋殺餘聞

殺人犯の都野川がソレ判るか見てやれと何處も此處も大評判其の人氣は實に沸騰したものだ▲最も今夜來る何んな顏をして居るか見ふと晩も南大門驛は勿論本町警察署前などは人の山押すな〳〵の大騷ぎ▲其の又騷ぎを取り締めるべく騎馬憲兵や巡査が出動に及ぶ▲群衆はソレ愈來るぞと騷ぐ▲南大門驛なども[illegible]▲最も振つたのは[illegible]新聞社の寫眞班がパッと寫眞を取つた▲するとソレ彼處へ來たと云ふ方へは人混を打つて押し寄せる▲其處へ來た者がある▲其れが又特別待合所の前へ態々行つて悠々とスグ引つ返して行つた▲犯人は自働車で護送されると知つて居る群衆はソレ彼れだ彼處から乘つたと又人混を捲いた▲警官等が頻りに犯人は今夜來ないと云つても嘘だ嘘だ彼あ云つて置いてソット警察へ送る積りだと何と云つても聞かぬ▲根氣の強い連中は何あに彼あして置いて後から犯人を出すのだと却々動き相にもないのが多かつた▲お蔭樣で骨の折れるのは警官と儲かつたのは停車場で入場券の賣高も少くはなかつた相な

嘉納氏講演會

東京高等師範學校長にして講道館長たる嘉納治五郎氏の來京を機とし左記に依り一般人士の爲め體育に關する講演を請ふ事と相成候間多數御來聽を希望いたし候

日時 十月五日午後四時半

場所 日之出小學校講堂

演題 未定

主催 朝鮮新聞社 京城日報社

○我國旗を凌辱

滿鐵線范家屯の支那人 旗片を引裂き大地に捨つ

三日朝滿鐵線范家屯にて商務總會の支那人我國旗を以て我通過兵を出迎へたる際群集中の一支那人は日本國旗を持つは不都合なりと煽動し遂に國旗をズタ〳〵に裂き大地に打棄てしより我官憲は右煽動者を逮捕し同夜長春に護送したり(長春特電)

○湯化龍氏の追悼會

東京で擧行 朝野名士の發起

過般加奈太ビクトリヤにて兇漢の爲暗殺されたる支那前教育總長湯化龍氏の遺骸は郵船加茂丸にて二日午前五時横濱に入港したるが遺骸は其儘同船にて神戶に送られ神戶より更に盛京丸に移乘天津に送らるゝ筈なり尙同日午後二時半山本農相、澁澤男、犬養國民黨總理、林公使、大岡育造、章支那公使、林長民の諸氏發起となり芝萬年山青松寺にて追悼會を執行せしが來會者は床次、野田の新大臣、後藤男等の外三百餘名に達し杉浦剛氏[illegible]

○一萬四千の慰問袋

市内だけで集まつた!!!

愛國婦人會朝鮮本部に於ては三日午後一時より事務所に於て常務委員會開催慰問袋集配の現況報告後慰問品代金寄贈者の分購入品等に就き種々打合せ協議をなし散會したるが慰問袋は京城、龍山のみにて一萬四千二百袋餘に達し内慰問品代金として寄贈せるもの五百餘圓あり

○鳥飼の番頭

吉川は經過が良い

既報北山にて都野川の爲め傷付けられたる鳥飼の番頭吉川數馬の負傷は其後の經過追々に良好に赴きつゝあるが彈が脊髓に當り居る事とて腰部は未だ麻痺の狀態にあるも意識等は頗る明瞭なり

○觀覽者歡迎

講道館朝鮮支部開設式は愈六日午前九時より京城中學校道場に於て擧行すべく猶時間の都合に依りては此外數番の興味ある試合をも行ふべし當日は部員以外一般の觀覽をも希望する由

○二人の娘 虎口を免る

門司で誘拐されて釜山に上陸

宮崎縣西諸縣郡加久藤村大字小田生れ中鶴武士(二一)は福岡縣山門郡兩開村大字西開中島あぐ(二〇)と云ふ二人の女が神戶紡績會社の女工にならんとて去月廿九日故鄕を後に門司に辿り著き旅人宿文後屋に宿泊中恰も隣室に泊り合せたる關係上知り合ひとなり慣れ〳〵しく言葉をかけて二人の行先目的等を尋ねた揚句神戶などより上海に行けば大した金が取れる幸ひ自分も其方へ行くから連れて行くべしと誠しやかに述べ立てゝ遂に一緖に門司を出發し本月一日夜連絡船にて釜山に上陸大廳町馬場下宿屋に投宿し徐に二人を某料亭に住み込ませ前借金を横領せんと企みて居たる事發覺し目下釜山署にて取調中(釜山)

○又しても拳銃騷ぎ

漢江通石炭屋の支配人が身受けした藝者を射つ =太陽館での騷動= 加害者捕縛被害者重傷!!!

四日午後一時半頃龍山停車場前太陽旅館に於て突如轟然たる數發の銃聲響けさまに轟きたり何分彼の繭商殺事件に人心を刺戟せる折柄なれば附近の人々素破又椿事と馳せ集まり大騷ぎを演じたるが今其狀況を探聞するに椿事の起れるは同館

▽第四番客室 にして龍山漢江通十三番地石炭商榮商會支配人中尾彌三郎(三二)が原籍愛媛縣周桑郡壬生川村稻井政代(二四)を拳銃を以て殺害せんとし果さざりしものなり

▽被害者政代 は内地に於て藝妓を勤め居たることあり其當時加害者彌三郎と深馴染となり遂に落籍せられ政代は同人を賴りて渡鮮し去る一日龍山に來り太陽旅館に宿泊し彌三郎は時々政代を同旅館に訪問し居りたるが彌三郎は近來彼と合惡しく再度離緣[illegible]になつて見れど政代に話したるも政代は遂々朝鮮迄來り斯く冷遇さるゝを心外とし

▽兩人口論の 末遂に此發行となりしものゝ如く彌三郎は匿し持ちたる拳銃を以て政代を目がけて矢庭に六發を發射し女は胸部腳部其他に數發を蒙り赤に染みて打倒れ附近には腦部散亂し實に慘澹たる光景を呈し居たり急報に依り龍山憲兵分隊より矢野下士以下總出にて現場に出張取調を開始し尙ほ京城地方法院よりは永島豫審判事醫師書記と共に出張檢視を爲し引續き取調中なり詳細は未だ判明せず加害者彌三郎は直ちに龍山憲兵分隊に引致せられ訊問を受けつゝあり又被害者政代は重傷なるも幸ひに何れも急所を外れたれば生命には別條なかるべしと

○寶生會素謠會

京城寶生會にては六日午後一時より同會俱樂部に於て素謠會開催の由なるが番組左の如し

△『枕慈童』三浦氏、高島氏△『七騎落』尾形氏、遠藤氏、奧山氏、岡、吾孫子氏、賴宮原六、石塚氏△『江口』藤田氏、ツ、勝木氏、磯田氏、久恐氏△『合利』中田氏、草松崎氏、須貝氏▲番外△『班女』前水氏、古城氏、ト大庭氏

○便所から大金

南原郡朱川面龍川里四十五番地揚某(三〇)は縄作りをして僅に渡世をなし居る者なるにも拘らず常に身分不相應の金を費ひ居るより南原憲兵分隊にては此奴臭いと引捕へ家宅搜索を行ひし處自宅便所堆肥中に小甕を埋め之に紙幣二千四百八十圓を匿し居たるを發見し嚴しく取調べたる所意外にも彼は附近の資産家崔某守なる者を殺害し前記の金員を奪ひたる事判明したり

○行金費消逮捕

鹿兒島縣生れ安田滿藏(三四)は長崎不動銀行員として勤務中本年一月頃より同地丸山遊郭に入り浸り放蕩に耽るより同銀行にても遂に解雇したるが其後に於て同人は行金千五百圓を費ひ込み居たること判明し其の筋に訴へ出でたるより爾來八方搜査中釜山琴平町岡野旅館に潛伏し居る處を逮捕されたり

○機關手の禁錮

原籍島根縣西伯郡米子町大字尾高生れ鐵道院機關手若槻清登(三二)は去月五日乘務のため水原同九日夜京城驛發の北行列車に乘組み孫道驛にて補助機關車を連結せんとしたるが連結意の如くならざるより補助機關車の機關手杉本伊三郎が兩機關車の間に入り連結機を動かしたるため前記杉本は無殘にも機關車に挾まれ即死したり依つて京城地方法院は刑事審理中の處業務上過失致死として禁錮八箇月に處した

○吳海軍の擴張

大船渠と地下の重油槽

▽計畫を聞くに「今の經理部需品庫を新埋立地に移し其の[illegible]民間造船會社にも製鋼所を設けて民間工業の ▽發展を助くる計畫で[illegible]の宏大なのは眞に目覺しいものがあるとの事である(吳)

○元は新聞記者

[illegible]一種の痛快さを味はされる氏は栃木縣の平民横田市太郎氏の二男で明治二年の生れであるが幼少の頃[illegible]氏に引立られて北洋生となり刻苦勉勵東京法學院を卒業し後辯護士[illegible]

[illegible]一等(十六名)[illegible]二等四十六名[illegible]伊豫信次、廣瀬與市、外人三名 三等(三百二十名)[illegible]三日午後入港[illegible]丸上陸二等客[illegible]

天氣 晴

(四日午後六時發表) 十月五日

日出 午前六時[illegible] 日沒 午後五時[illegible]

公告

左ノ不動産ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

京城地方法院

一 京城府光熙町通四十六番地 垈三十三坪 最低競賣價額金二百三十一圓也
一 右地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家一棟 建坪八坪二合一勺 附屬木造草葺平家建一棟 建坪五坪 最低競賣價額金五十四圓也 所有者 朴聖俊 中立人 李浩康
一 京城府觀水洞百四十七番地 木造瓦葺平家建本家一棟 建坪二十二坪六合 最低競賣價額金八百十圓也 所有者 京城友映合資會社 中立人 [illegible]
一 京城府黃金町二丁目五十九番地 垈百八十六坪 最低競賣價額金三千圓也
一 右地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家一棟 建坪八十四坪四合一勺 最低競賣價額金四千圓也 所有者 富田[illegible] 中立人 沈相來
一 京城府旭町一丁目八十九番地 垈六十六坪 最低競賣價額金七百九十二圓也
一 右地上ニ建設 木造瓦葺二階建本家一棟 建坪[illegible] 最低競賣價額金[illegible] 所有者 株式會社[illegible]銀行 中立人 [illegible]
一 京城府孝弟洞百二十六番地 垈八十五坪 最低競賣價額金四百二十五圓也
一 右地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家一棟 建坪二十二坪八合五勺 最低競賣價額金四百九十圓也 所有者 安鍾韓 中立人 [illegible]
一 京城府櫻井町一丁目百四十一番地 垈二十五坪 最低競賣價額金二百五十圓也
一 右地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家一棟 建坪八坪六合六勺 最低競賣價額金二百十圓也 所有者 高橋[illegible] 中立人 下田仙藏
一 京城府八判洞百四十六番地 垈二十一坪 最低競賣價額金八十四圓也
一 右地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家一棟 建坪八坪二合二勺 最低競賣價額金五十六圓也 所有者 金永明 中立人 金[illegible]
一 漣川郡郡内面車灘里二百八十三番地 垈二十五坪 最低競賣價額金二百五十圓也 所有者 朴甚士 中立人 [illegible]
一 京城府[illegible]洞六十五番地 垈十一坪 最低競賣價額金二百五十五圓也
一 右地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家一棟 建坪二十五坪二合四勺 最低競賣價額金四十九圓也 所有者 李[illegible] 中立人 車相閑
一 抱川郡加山面嘉田里六十三番地 田四千六百十坪 最低競賣價額金九十二圓也
一○同所六二三番地 田四千三百六坪 最低競賣價額金八十六圓也
一○同所六四一番地 田四千百八十坪 最低競賣價額金八十九圓也
一○同所六三番地 田四千八百二十九坪 最低競賣價額金九十七圓也
一 抱川郡加山面馬山里九十八番地 田七百三十一坪 最低競賣價額金七十三圓也
一○同所一五一番地 田二千三百坪 最低競賣價額金四十圓也
一○同所二四番地 田三千九百十坪 最低競賣價額金七十八圓也
一○同所二五番地 田二千百九十一坪 最低競賣價額金四十四圓也
一○同所二六〇番地 田六百四十二坪 最低競賣價額金十三圓也
一○同所二六一番地 畓七百九十九坪 最低競賣價額金七十八圓也
一○同所二六二番地 田一千七十坪 最低競賣價額金二十七圓也
一○同所二六八番地 田一千四百四十六坪 最低競賣價額金三十三圓也
一○同所二六九番地 田三千六百二十八坪 最低競賣價額金八十二圓也
一○同所二七〇番地 田二千六百七十三坪 最低競賣價額金四十五圓也
一○同所二五一番地 田八千二百九十坪 最低競賣價額金百六十六圓也
一○同所二五四番地 田三千五百十八坪 最低競賣價額金五十一圓也
一○同所三七〇番地 田二千五百八十坪 最低競賣價額金三十四圓也
一○同所三六八番地 田八百六十八坪 最低競賣價額金十七圓也
一○同所二二七番地 田一千七百七十坪 最低競賣價額金三十四圓也
一○同所[illegible]番地 田[illegible] 最低競賣價額金三十一圓也 所有者 李圭重 中立人 趙[illegible]
一 京城府昌信洞五百六十一番地ノ一 垈五十八坪 最低競賣價額金六百九十六圓也
一 右地上ニ建設 木造草葺平家建本家一棟 建坪二十六坪三合 附屬木造瓦葺平家建一棟 建坪九坪 最低競賣價額金百三十五圓也 所有者 柴田文治 中立人 鄭[illegible]
競賣期日十月五日午前十時トス

法人登記公告

水原地方金融組合登記事項中大正七年九月拾七日京畿道水原郡山機里百四番地尾崎俊市ヲ理事ニ任命シ同日理事今村勇吉依願辭免セラレタルニ因リ抹消ス

右登記ス

大正七年九月參拾日

京城地方法院水原支廳

洋鐵 洋釘 亞鉛線 生鐵 平板 鐵線 銅 鋼 眞鍮 亞鉛 京城支店 京城南大門通[illegible]

片栗 朝鮮興成 宇佐美製粉所

鐵道枕木 一千五百本 船材 一千八百枚 右海州龍塘浦ニ於テ廉賣可仕候間御希望ノ方ハ左記ヘ御問合セ被下度候 海州郡海州面南本町電話五十五番 大昌商會 朴昌鎭

…に…を設け、更に製鋼部から…は地下に埋めて土地の經濟を計るので、此の埋立…間で…十萬坪を埋立て茲に…り、奥驛から鐵道を工場に引込んで陸上運輸の便を計るなどの規模…局長官は一寸意外であつたそして…

◎横田千之助氏 …政務…幹事長横田千之助氏の法制…かつた其の後東京に出て中外商業新報社の配達こなつて苦學中…

◎北滿の物資は世人の想像以上
各地とも案外豐富なり
獸鷄肉も鷄卵も魚肉も蔬菜も

一時物資の缺乏を唱へられたる北滿の各都市も此頃は種々の方法によつて何分緩和されて來た殊に日本軍到着と共に附近より集まつた物が尠なくないらしい最近の調査によれば左の如くである(奉天)

◇齊々哈爾 に於ては獸肉鷄卵乃至豐富であり鮮魚の産出は附近を流るる嫩江から鯉、鯰、鮮頭魚、白魚、狗魚、鯡等最も多く捕獲され野菜類こしては葱、茄子、馬鈴薯、瓜、俄瓜等の産出甚だ豐富である日本味噌は何時も供給不足であるけれごも支那味噌は充分であるし醤油は日本物可なり殘つて居り米は全然朝鮮米である支那小麥粟高粱の如き穀物は相當の數を有して居るらしい同地に於ける今日の諸物價は玉葱一斤二十四錢、白菜十一錢、大根十錢、馬鈴薯十二錢、薤十五錢、茄子廿錢、鷄肉三圓、牛肉一圓乃至七十錢魚は生きて居るもの四十錢他は大抵廿錢乃至十五錢鷄卵一個二錢而も甚だ富裕である

◇滿洲里 獸肉類卵魚類は甚だ豐富である鯉一斤十七錢乃至十錢、胖頭魚二十五錢、白魚三十八九錢、鯡十二錢、鯰七錢等の相場である野菜の産出は尠いけれごも海拉爾から供給すれば實に澤山である併し既に相當寒さを感じて來て居るから野菜物は不自由は免れまい

昨今の氣候にて溫度午前二時頃は攝氏二度位迄下降し霜を見る事珍らしくない、最高攝氏二十度内外九月一日から同十日迄の同地平均溫度(一日)九度三(二日)十一度七(三日)十一度(四日)十二度(五日)十六度(七日)十三度(八日)十三度三(九日)九度(十日)九度へ十四度六であつた

◇札蘭屯 はキヤベツ馬鈴薯葱等の産出多く魚類も頗る豐富である同地の水は各非共滿洲中稀に見る極めて良質な飲料水であるが殊に冬に入つてからは河水を使用しても實に清冽たるものである布哈圖の飲用水は附近にある唯一の井戸からタンクに汲み揚げ住民に供給して居る

◇富爾拉基 牛、羊、豚肉等何れも深山に産出する魚類も何等不足はない穀物は小麥が最も多く粟、こし粟蕎麥等も亦相當取れる野菜は極めて低廉であつて馬鈴薯は一布袋四貫三百六十匁位に三圓であり大根、胡蘿蔔、西瓜、胡瓜等も亦多量に産し醤油一升四十錢砂糖一斤廿五六錢で品物甚だ拂底である

◆烏蘇里線の避難民 本社從軍記者撮影

◎寒心に堪へざる
◆奉天金融界の前途
喫緊の大問題

奉天金融界の將來に關しては甚だ憂慮すべき點多し如何となれば支那財政の窮乏は已に其極に達し如何ともなし難き狀態にありながら中央政府よりの撥款は到底當てにならざる有樣なれば勢ひ奉天省自身に其籌辦を爲さゞる可からず然も目下の奉省は已に出所を失し尚且つ省費の用途頗る多く而も國民教育費を省き政費に充當する程の貧財政なれば餘裕の財を得るに道なく左りこて日々消費さるべき軍費の如きは之を滯濟せしむるを得ず是非なく各銀行より何分を借入れ以て一時の急を糊塗するの外他に策なきの有樣なり然るに奉天の

各銀行も至極貧弱

なるものなれば省費の立替に對しては之に伴なふ利權を與へざるを得ず其利權こしては債券或は兌券の發行を爲すを以て近道なりこするも同紙幣は兌換停止擔保の際に既發行分百五十萬元以上發行せずこ口約束をなしあるを以て

濫造濫發の自由

行動を爲す能はず其の發行に對しては極力日本に秘密に付せざるべからざるを以て甚だ苦痛の點あり併し今日に於ては既に五百萬元乃至七百萬元の不換的紙幣を發行し尚此上濫發せば自ら自己紙幣の價値を失する恐れあれば之こて深く考慮こ攻究こを要し

日本及他の外國の

抗議なき範圍に於て施策せざれば忽ち蹉跌を招くべく今や殆んご策盡き果てゝ如何こもなし難き窮境にあり此等内情の爆露を恐れ兌替業者或は大小錢莊等に壓迫を加へ奉天財政界の動搖を防がんこ企つるなご手を盡すこ雖も根柢不確實なるを以て外部の刺戟に依つてすら甚だ危險狀態に瀕しつゝあり而も其動搖を防止せんとするには只官力の

威壓にて强制流通

を以てしては回背に行かざる點多きを以て銀行官營説を唱ふるに至り既に其下準備として興業銀行商業銀行等其他私立銀行をば全部東三省官銀號に併合し以前より不信になりし殖邊銀行の如き其紙幣回收をなし遂に營業を停止するか或は再び官銀號に併合するか何れにせよ金融機關の統一を計る事に汲々として之を努めつゝあり然りと雖も支那銀行側及び一般商事者は

金融全部の官營は

其間恐るべき弊害の起らん事を恐れ極力反對氣配を示しつゝあるを以て到底急遽官營に遷す事困難なるべく若し全部効を奏し官營に移るこしても將來の金融界は更に憂慮すべきものあり如かず只管施策に依つて一時を糊塗せんとするよりは根本的永遠の計を立て百出する弊害を拔除する事奉天金融界の緊急策たるべし(奉天)

◎石炭の將來
◆滿鮮は撫順炭供給◆

内地に於て開催されたる石炭會議に出席中なりし滿鐵販賣課長城崎三氏よりの情報に依れば内地に於ける石炭の需用は益々增加し殊に本年は各炭坑に於て騷動事件勃發し出炭額自然減少に陥り東洋全般を通じて缺乏甚だしく彼の開平炭の如き從來二三十萬噸の輸入ありしを本年は尠くも五六十萬噸の輸入あるべき模樣なりされば滿鐵の撫順炭の如きも非常に好況にて内地需用頗る大なれごも滿鐵は成るべく其輸出を制限し内地に於て一噸二十五六圓に需用さるるに拘はらず滿洲及び朝鮮に於ては依然從來の安價を以て販賣すべき豫定なり本年は北滿派遣軍其他地方の需用も增加し且つ鞍山製鐵所の需用も年末迄に火入式を行ふこ言へば甚だ多額を要すべく行々は現在撫順に於ける出炭の全部位は同製鐵所に於て消費し盡すに至るべく是非こも採炭增加を企畫するこ共に新炭坑經營の必要あり目下大有望視されつゝある新邱炭坑の如きは即ち其採炭を迅速ならしむる要あるも支那側に於ては此等事情を知らざるものゝ如く同交渉は遲々こして何時解決せらるゝや計り難く滿洲石炭界の爲め甚だ遺憾事こ云ふべし(奉天)

◎恰克圖に暴威を振ふ
蒙古地方の危險刻々に迫る

曩にキヤクタに蟠窟せる過激派軍は同地方に於て暴威を振ひ危險甚だしきより蒙古庫倫辦事陳毅は奉天に對し電請して急遽大軍を派遣し同方面の鎭壓に助勢せられんことを要請し來りたり(奉天)

●車掌を全部支那人にした● 四鄭鐵道列車乘務車掌は三名の邦人を滿鐵や社より雇傭せるが任期を了りたれば是れを解傭し此間養成しゐたる支那人車掌を代用し邦人は何れも元所屬に還したり(四平街)

◎講和か復辟か
支那政局の將來

元來主和派なる徐世昌氏大總統に就任すべく決定せる以來北方主戰派も到底自己の所思貫徹せざる事を察し遂に主和論を傾聽するに至り就中其中堅たりし張東三省巡閲使すら昨今態度を一變し頻りに南北講和を云爲し名を北滿蒙境の危急に藉り南方討伐軍を引揚げんこする意嚮を仄かすに至れるを以て徐氏は既に股肱の腹心錢能訓、吳笈孫をして講和意見書を起草せしめつゝあるが徐氏自ら起ちて大總統たるも支那の統一期し難きを懸念し寧ろ就任の前後に於て張勳を特赦し人々の趨嚮を察し模樣に依りては復辟を斷行せんこ計畫せるもの、如く目下前淸諸王並びに宣統皇帝の左右こ頻りに往來を重ねつゝあり奉天に於ては此の政變時機を十月中旬こ風聞し居るも消息通は多分同下旬なるべしこ觀測しつゝあり茲月餘間に於て變動すべき支那政局は大いに刮目に値すべしこ(奉天)

帽子
◇此の冬の流行に就て◇

毎年の流行こはいへごうせ頭に戴せるだけの帽子、それほご變るものではない、比較的に盛つたのは

◆鳥打帽で ある天井が廣いのは例によつてだが、天井のハギ合せが今年は四ツハギばかりになつた、そして去年までは鉢卷に膨がついてゐたが、今年のはこの膨がなくなつて、天井からなだへになつてゐる、それから少しハイカラ向きこしては一枚製のが出來てゐる、これも腰をこつてある、生地はこれまでのスコッチ柄がだん〴〵廢れて滑らかに出來て羅紗を使つてある、色氣も餘程じみになつてゐる、即ちおこなし向きに進んで行くらしい値段は三圓を上下こいふこころである

◆中折帽子 はホンの少しばかり鍔がひろくなつた、色は茶の一點張こ云つてもよい、そして若りはソフト式のものが多く、すつご紳士向きになつて折かへし鍔になつてゐるが其外のは皆切りはなしである、中折帽子につて最もすぐれた特長は毛深の羅紗が流行して來た事である、毛深の羅紗は去年位からごうやら日本の工場でも今年出來たのを見るこ較べて見劣ほごの舶來のこ見界が無い以上は殆ご舶來のこ見界がつかない位にまでなつた、併しまだ〳〵充分こ云ふのではない、尤もお値段でも相談こいふ事になるのだが、舶來の毛深は二十圓前後だが、日本製のは十圓前後で普通の中折は羊毛のが三圓前後のが六圓前後こいふここであるが、茶の色合は昔の焦茶こいふ色に近い

◆中山帽子 には鍔の折かへしこ縁髪でくつこ反らしたのが最新式こなつてゐるが冠り人によつては似合ふまい、それから横の折かへしを平にしたのが去年までのだが、その平さをなくして前後の鍔で平にしたのもある、併しこれも只形こして出來たまでゝあらう、要するに格別の變化はないが値は三圓八十錢ぐらゐからある

◆其他略帽 こ稱する剥製の雨天帽などがある、一概に流行こいふが現に東京市内だけでも場所によつて隨分變つてゐる或場所では同じ中折でもリボンを狹くツバに反りをつけた見たこころキリツこして氣の利いたこいふ向のが重に出るかこ思へば外の所では折かへしつばでくつこ納まつた紳士然のが多く更に山の手の方へ行くこ案外毛色の變つたものが向いてゆくこいふ風である

◎鴨綠江航路

大連汽船の獨占

安東縣即ち鴨綠江に出入する汽船の定期航路は大阪商船會社の安東出張所が殆んご大連汽船の獨占こも見るべきものなるが同社安東出張所の關主任の語る處を聞くに目下鴨綠江に出入する汽船は關東都督府の命令船大潮丸(一、三〇〇噸)濟通丸(一、一〇〇噸)の二隻にして一箇月三回宛都合六回の航海こ不定期船一進丸、加進丸(各一、五〇〇噸)の二隻なり定期船は大連を出帆して安東縣に來り更に安東を經て大連に歸航し大連より天津線を往復して前記の順路を繰返し又は上海の航路に就くものなるが各船こも常に貨物滿載の有樣なり就中不定期船の二隻は常に天津の材木を南北方面公司こ永發順の木材獨占に何十回こなく繰返すも積載貨物に不足を告ぐる事は絶對になしこ云ふ唯安東大連間の乘客に於ては多少遺憾の點なきにしもあらざるが其の主なる原因は大連汽船の利用を一般に周知せられざるは其の主因たるべし若し汽車にて大連に到らんこせば二十二三時間を要するも大連汽船に便すこせば十五六時間に到着し得べく且つ船賃の如き特等十二圓一等十圓二等なし三等五圓等にして大いに經濟こなるべしこ要するに本航路は安東の主要物産たる木材を運搬するのみにして毎年多大の利益を擧げつゝありこ

◎正金と齊多

正金銀行は近く齊多に支店を新設する事に決定したりこいふ(奉天)

◎奉天票の暴落

金鈔暴落の影響を受けて大暴落を來すべく一部支那人間に憂慮されつゝありし奉天票は俄然漸落歩調こなり金對八十六七圓なりしを遂に九十圓臺を破り九十四圓五十錢こ下放の新記錄を示しつゝあり

◎遼河水運の調査

四鄭鐵道こ遼河の水運は何れも輸送上に關する競走線こして目せられ居るものなるが四鄭局にては庶務課長岩崎小源氏を派し鄭家屯營口間の水運に關する詳細なる調査をなさしめ既に出發したるが往復二十日の豫定にて此調査の結果に依り前途の營業方針に大なる利益を齎すここなるべし(四平街)

慶北共進會
協贊會事業こ設備
(續) 協贊會長 中野大邱府尹談

◇會場附屬地 協贊會に於ては市中より共進會場の通路を貫通して新川に達する道路の北側即ち會場の側面約三千坪を以て北附屬地こし各種の販賣店、飲食店區及び興行物區こするの外會場正門前を劃り一は觀覧者の便宜を販賣店區に充て一は會期中の賑ひを添ふるの計畫を爲せり

◇第一賣店區 此區域は共進會正門前郵便局官舍の向ふ側を以て之に充つ、會場入口の大道路に面し延長約三十間賣店一戸の區畫を間口二間半こ二間の二種こし十五戸を排列するの計畫にして此區域は特に協贊會に於て賣店申込者に對し一定の裝飾を爲せる建物を供す 第一、第二附屬地賣店の使用申込は是亦頗る盛況を呈し居れるが右第一賣店區の申込中重なるは 模型飛行機店、和洋菓子店、吳服店、粉菜料理店、和洋各種器店、果物店其他市中呼物の大家豆腐等なり

◇第二賣店區 此區域は共進會場側面道路の向ふ側中央の位置を占め延長東西に約三十間、賣店一戸の區劃を第一區こ同じく間口三間半及び二間の二種こし背中合せに廿戸を排列す、此區域は一面通路に對し一面は中央の廣場を控へて立地に對するを以て位置の良好なるここ敢て第一區に讓らず、右は京都共益社の新案特許大正腰掛販賣店は此區内に設けらるべし

◇鮮人飲食店 共進會觀客は遠き方より來る者の爲めには遺憾なき設備を要するを以て協贊會は附屬地内に廣潤なる鮮人飲食店區を設け何れも間口二間奥行約五間こし使用申込に應じつゝあるが今日の況にて既に滿數を超過するを以て別に區域を擴張する見込なり

◇興行物區 共進會觀客の餘興的觀覧物こして逸すべからざるは興行物區なり、初め協贊會は興行物區使用申込みの多數なるべきを豫想し七百餘坪を劃きて此區域に充てしが申込意外に多く且つ孰れも大仕掛にして希望數遙に豫定に超過せるを以て新に二千坪に近き面積を追加擴張し辛うじて希望を充たせるが今日迄申込濟の興行物を列記すれば左の如し
劇場、活動寫眞館、地獄極樂の觀物、動物園、西洋奇術、猿芝居、不具者の觀物、男女合併曲馬、朝鮮人相撲

◎咸鏡北道の農作

咸北地方本年の氣候は四月より五月上旬迄は高溫適濕なりしも五月中旬以降は低溫多濕を持續し六月中旬に至り稍恢復したるも晩雨の日多く爲に冷氣過濕こなり今日に及べる結果一般農作物の成育上多少の影響を受けたるは事實なるが作付反別增加其他にて昨年作に比し一般に各農作物は增收の徵あり重要作物に見るに

◆水稻 播種以來多雨なりし爲發育良好にして作付反別も昨年に比し約七百町歩增加し五千四百町歩に達し收穫豫想は三萬九千四百石にして昨年に比し二割五分の增加なり

◆麥作 大麥小麥發育極めて良好なりし成熟期に至り雨少なく品質を損じたるも收穫豫想は大麥二十四萬千七百石小麥二千石にて昨年に比し大麥十二割小麥四割の增加なり

◆粟 降雨の爲め成育極めて不良昨年に比し約三割減にて收穫豫想十九萬八千八百石見當なり

◆稗燕麥 共に成育良好昨年に比し何れも約二割增加にして稗は十四萬五千三百石燕麥は六萬六千七百石見當なり

◆大豆 作付反別增加せるも多濕の爲め成育不良なりし故に收穫は昨年こ大差なく十四萬石内外ならん

◆菜豆豌豆 共に昨年の移出激增の爲め價格昂騰し耕作反別は昨年に比し菜豆は三割增の九千町歩豌豆は五割增の二千七百町歩なり而して收穫豫想は菜豆二萬七千石豌豆七千石見當なり(清津)

◎忙くなつた米界
◆鳥致院こ新穀の出廻り◆

鳥致院の穀物界は今や新穀の出廻り增加し品質は大豆の幾分乾燥に於て不充分なる點あるを免がれざるも米豆共に槪して良好に且つ今秋は近年稀なる豐作なるより一般に多數の出廻りを豫想し穀物組合にては組合規約の改正こ共に組合員の統一を計り組合書記の增員をなしたり(鳥致院)

◎自作の野菜 手料理で
◇美味く調理する研究◇ 大邱高女の面白き思付き

大邱公立高等女學校にては從來校庭の一部に學校園を設け生徒一名に二坪づつを受け持たしめ各自思ひ〳〵の蔬菜類を栽培せしめ園藝趣味こ併せて勤勞の習慣こ體育獎勵に資しつゝあるが來る十月十七日同校内に於て園藝競勵會を開き生徒各自の栽培收穫せし蔬菜を出品陳列して品評を爲す由なるが同校にては是等の蔬菜類は割烹の實習用に供しつゝありこ

◎流行の洋服
◆體に能く合つた型◆ どんな色合どんな縞び方

平壤に於ける洋服の流行を營業者に聞いて見るこ左の如くである(平壤)

今年内地に於て流行してゐる洋服のスタイルを見るに先づ昨年こ變つてゐる點は本年は一層身體に密着したものが歡迎されて而して相變らず丈は短く襟は折目を付す釦の間隔もズット狹く釦の止より裾迄の距離を長くしたものが流行つてゐる尤も色合杯は昨年こ大差なく依然茶、鼠、黑、霜降り系統を辿つて中には極目立たぬ縞物等も歡迎されてゐる

そこで三越吳服店の相場表を標準にして見るこフロックコート黒メルトン縞ズボン付一組八十圓位より百三十圓位迄モーニングコートは黒メルトン縞ズボン又は色メルトン三つ揃一組が七十圓以上百圓位、背廣ズボン又はスコッチ製一組四十圓より百圓位スコッチサージ等一組が四十圓位であるが平壤とても大差はない

台所 其の日

◆卯の花蒸玉子◆ 卯の花をいりて醬油砂糖鹽等にて味をつけ鍋の中に少しばかりを加へたものを茶碗に盛り其の上に玉子を割つて落し茶碗に盛り…なまぶしつけて揚げた揚物を載せ蒸したもの一寸天井の樣に見えます、あつさりした味の茶碗蒸しであります

富の道しるべ 山縣五十雄 村上唯吉 共著 價十五錢 郵税二錢 京城太平通 振替京城三〇 京日代理部

◎連絡船上陸客 三日午前入港新羅丸二等客 …森川…、…三等九十六名

豫報 時 曇
前日最高溫度 攝氏十六度九分 最低 攝氏七度五分

內科 胃腸病 診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三七 九二九番

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千參百參拾萬圓
總預金 貳億七千萬圓
株式會社 第一銀行 京城支店
京城本町二丁目 振替貯金京城一〇一六一番 電話一二三一七番
頭取 佐々木勇之助
支配人 西村道彦

名譽金牌 最上 醬油
釀造元 日本醬油株式會社 仁川港

左官賃金値上廣告
今般組合決議の上十月一日より左官賃金左の通り相定め候也
一日一人賃金 金貳圓七拾錢也
大正七年十月一日
京龍左官業組合 組合長 林喜太郎

登錄商標 八千代足袋 毛織物類製 帽子 洋服 靴 防寒具 調馬具 陸海軍諸官衙御用達
防寒靴 製靴部擴張 學生靴 紳士靴 時價提供
香川縣善通寺町 千葉商會 長電話二二三番 振替口座大阪一二九五番

男の病ひ専門
生殖器發育不完全、包莖、早漏、遺精、陰萎其他男子の病氣は専賣特許眞空療法器にて治す
東京神田…町五 電話… 東京眞空療法研究所

親戚 若林亮助 一同

石碑 大和町 平清

贊化病院 京城明治町一丁目 電話二四一番
內科 小兒科 入院隨意 無料施療 毎日五名を限り
醫學博士 土古城憲治

冷卸發賣 白菊 都菊
京城本町二丁目 特約販賣店 佐藤牧次郎
釀造元 大阪府堺市 肥塚源次郎

廣告 鐵鑛 鐵鑛石 區 右多少に不拘高價買入す 平壤本町 岩田商店

大正式製莚機 東京本所長崎町三 日本發明獎勵會

京城本町二丁目 川合時計店 電話一九一八 振替京城二三二九 懐中電燈

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版 京日寫眞製版部

商況

東京期米特電
未着

兵庫期米特電
未着

大阪株式特電

銘柄	拂込額	二日後場
宇治川水	五〇、〇〇	…
東株新	五〇、〇〇	…
東洋紡績	五〇、〇〇	…
合同紡績	五〇、〇〇	…
鐘淵紡績	五〇、〇〇	…
同上新株	四〇、〇〇	二四、七〇
東洋製糖	五〇、〇〇	一六二、〇〇
大阪商船	五〇、〇〇	一六四、七〇
日本郵船	五〇、〇〇	二五〇、〇〇
同上新株	五〇、〇〇	一九、〇〇
堂島米穀	五〇、〇〇	二六、〇〇
東京株式	五〇、〇〇	…
大阪株式	五〇、〇〇	一三五、七〇

大阪三品特電
三日後場
九月限　四二〇、〇〇
十月限　……
十一月限　……
十二月限　……
一月限　四一四、六五
二月限　……

大阪期米特電
三日後場
寄付　三十六圓四十五錢
止め　三十六圓四十二錢

下關期米特電
三日後場
寄付　……　三六、六九
高値　……　三六、〇〇
安値　……　三五、五三
止め　……　三六、〇〇

雜報

●綿糸布伸悩
日の大阪三品後場は當限四百二十四圓先限十四圓六十五錢と不勢の報に綿布は一錢は十四圓丁度と暴落せり當地綿布界は感報の如く現品拂底と按入荷の望み薄き爲依然强硬を唱へ粗布三三十一號は四百二十五圓乃至四十圓見當が維持し内地相場に比し三十圓見當の高値にて又細布の手持筋の賣進み高値となり強くかゝる割合に先行を見越し居るが大部分の取引は當地に於ける實需筋の手控へに依り商内は閑散なる模樣なり

●洋紙益强硬
開催せられし全國洋紙聯合會に於ては洋紙の値上を決議し目下大阪方面に於ける販賣店側の洋紙の値上げは相當の値上げを見る事となれり當地に於ても…手持の關係上元來内地相場に比し割安に賣捌き來りし處新定手控へ勝を續けんとする…

●本月の聯合會
近せんとし昨今にてはザラ十一圓乃至十二圓三十錢模造十二錢硬紙十二圓を唱ふるに至り本月の聯合會に於ても幾分値上げ決定せられ其結果に依つては更に之が影響は免がれ難く

●石油依然拂底
石油は近來荷動き不足に市中在荷當に缺乏して頗る拂底なるが…今に於ては此の荷捌けて拂底となれば今や値を見るに至らざるも此の値の向上の方なく最近英油は約三百箱内外の入荷ありしも此等の入荷品の殆ど全部は…需要者間に賣約済となり居り此際可成直接需要者に於ては…

▲小豆（小强）
昨日雜穀類の好況に伴ひ産地の手堅きを移して手持筋の賣腰強くされば當用に僅かにて引き當もこれ無く前日と大差なく商内は閑散なり

各地商況
▲大豆（底堅）引續き當州入荷は少く…

▲木浦米況（二日）
玄米（强硬）暴風雨の刺激にてもあるか大阪定期の暴騰の折柄釜山高及び釜山買進み等にて動搖され加之月變り等にて積出筋も刺激され…三等三十二圓位迄の買入あり前日に比し一圓高氣配なれども賣手は更にその上一圓位高唱へ居り…

▲釜山新大豆　十九圓八十九錢
▲宜川大豆ポイ　十九圓三十九錢
▲同近日物インボイス　十九圓
▲鎮南浦大豆　十九圓廿錢
▲元山大豆　十九圓七十錢
▲同　七十錢
▲肥料の成行　鯡粕四十六本朝　鯡粕百五十本朝

下關相場
▲朝鮮米（保合）白米一千四百八十叺等の廻着あり白米は大部分先約品なるが產地は今日の成行きにより買付注文相當入込み居れる…

皮革類活況
皮革類は昨月中旬以降際立方面よりの買付注文頗りて殊に軍隊方面の皮革需要増加せる結果相場は騰勢を示し…

●銅貨俄然奔騰
一般金物界は一般財界の不況と鐵材暴落の影響を受けて頗る打ちの狀態を現出し大勢漸落の歩調を辿りつゝありしが最近一週間許りの間に銅が俄然奔騰を演じ遂に上押して二日朝には銅七十八圓…

…なる低廉配給する事に努めつゝあれば小賣店側は多少打撃なるべし

釜山市場（三日）
▲玄米（强硬）昨日も賣行き好況にて市況活況を呈せる爲め人氣昂騰して一圓方の高値商販を裝はせる當地米界にありては其後の内地期米相場も依然弛まず高値を唱へ殊に日本朝鮮米の昂騰は…

京城正米市場
仁川定期は引續き休會にて内地期米は益々高値を報じ從つて當市場は之が影響を受け四日の市は更に一圓五十錢高の入電を齎らし沿線各地共に人氣は引立ち…

釜山市場
今朝は更に二四十錢より五十錢方の高氣

𠆢齋藤榮之助
仁川米豆取引所仲買人
仁川港町
電話…

配給

市場雜觀
▲昨日著電大阪三日前場

	當	中	先
一節	四〇、七〇	三六、八九	三三、〇九
四節	四〇、五〇	三六、二一	三三、九〇
六節	三八、〇〇	三六、八〇	三三、〇〇
七節	四〇、〇〇	三八、四〇	三六、九〇
九節	四一、一〇	三八、〇一	三六、八〇
止め	四一、一〇	三八、〇〇	三六、〇〇

（大阪後場）
	當	中	先
一節	四一、一〇	三七、一〇	三六、五九〇
二節	出來不申	三六、四九	…
止め	出來不申	三六、七八	三五、四二

▲大阪の成行は斯の如き大變動を演出し當月限の如き遂に四十一圓五十錢と空前の大高値に暴騰したり勿論現下の正米相場…

仁川米豆取引所仲買人　三巴仲買店
仁川海岸町三丁目
電話…

稍解合談の進行…

亦臨時休會
回の大暴騰に賣方の兜を脱ぎ解合を申込み…

止まり新規賣買を停止

北濱だより
▲講和案じ…

仁川米豆取引所仲買人　仲買店

米期　仁川米豆取引所仲買人　倉重利輔

仁川正米
▲籾の入津少なし…

仁川期米
▲解合談起る…

▲不調に終る

南大門廻漕
…

生魚市場
…

青物小賣値
さつまいも　五〇…

仁川米豆取引所仲買人　大五仲買店
店主 張…

白米標準値
三十八圓丁度

白米小賣値
一等白米　三十八錢五厘
二等白米　三十八錢

田中金兵衛商店
仁川米豆取引所仲買人

志　仲買店
仁川米豆取引所仲買人

仁川米豆取引所
▲臨時休會

廿六番角力
毛谷村六助
第廿五席　桃川桂玉口演　浪上義三郎速記

お里は欺かる、とは知らず喜んで居ります彌正はお里の衣類に目を附けて『コレ乳母其方の衣類は宜い、丸に井桁の黒の紋付、小紋の袖と剱合せは奇妙々々…』…

◎安東縣近事
▲歸去來　…

演藝案内
壽座 / 有樂館 / 大正館 / 文樂座 / 黄金館 / 浪花館 / 壽館

冬帽着荷　何れも最新流行型

京城日報社代理部

朝鮮商業銀行
瀬戸外科皮膚科醫院
酒井婦人病院
ヒゲタ醤油　銚子醬油株式會社釀造
金井眼科醫院
優等清酒　賀茂鶴
朝鮮病院
謹告　平壤鑛業所無煙炭特約店　苫米地商店
朝日旅館
るいれき　清水寺
東亞牧場　ニウソ牛乳

京城日報
本紙定價 壹ヶ月七拾五錢 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

[illegible]至る間を略一直線たらしめんとする氣勢を示し獨軍は各方面に於て部分的小逆襲を繰返しつゝあるも[illegible]りて活動は所在に行はれ北方イーブル、ディスムード間約五里の戰線に在る由、英軍は二十八日朝來[illegible]は更に大退却を爲すべく而して就中注目すべきは南部ヴェルダン附近に於ける米佛聯合軍の新攻[illegible]り西部戰線中今後大いに進出の目途あるは此の方面に於ける新攻勢にしてロードレン方面に於ける米佛[illegible]せしめたるに止らず頗る聯合軍の士氣を振興せしめ從來殆ど不鳴不蜚の状態に在りし[illegible]聯合軍[illegible]を奪取すると共にモナスチール西北方の敵を攻撃してアルバニア方面に撃退せり一方聯合軍の國境內[illegible]の悲境に陷れり由來勃土の如き三等國が長明の大戰に堪ふる頗る困難にして土國軍の如きも全く殆[illegible]戰勢に西部戰場と云はず小亞方面と云はず一齊に聯合軍の活動を見るに至り今又巴爾幹戰線の進捗さ[illegible]なかるべしと觀測せらる(某軍事通信)

京城日報

朝鮮同胞に告ぐ(十)

日本精神特に神道に就き

神道の長養

世に或は儒佛二敎の我が國民思想に混交してより、神道を晦昧不斷に隱れたりとなすものあるも、是れ例の國學者流の偏見のみ。本居平田兩家の如き偉大なる識見を以てするも、猶此種の僻說を免る能はず。其餘は推して知るべし。凡そ一國の文明は必ず遠き淵源あり、又其の思想の根柢を深く有つる所あり、以て國民性を釀成すと雖も之を培養長育して、鬱勃の美花を發かしめ、更に肥大の好果を收めんとするには、必ず外國文明の刺戟を與へ、有無相通じ長短相補ひ、彼此互ひに發明する所あらしめざるべからず。之を事實に徵するに羅馬の文明は希臘の文明を受け、希臘の文明は、埃及、波斯、印度に資益を取る所多し。古代支那は獨得の文明を有せりと雖も、印度思想の刺戟に依り、殆ど其の面目を一新せることは、何人も之を認むる所なりとす。畢竟一國の文明は、猶一定の國圃に作れる植物の如し。地力漸く盡くれば、其の發育も亦從つて止む。若し更に之が繁殖を圖らんとせば、是非とも肥料の增進に[illegible]。外來の文明は卽ち國の文化を進むるの肥料なり。今人あり、肥料に因りて繁茂したる植物の、綠葉蒼々、花實美甘なるを見て、植物本來の性質を失却せりと咏嘆せば、孰れか其愚を[illegible]はざるものあらんや。

吾人は是に於いて侯爵大隈重信の說を紹介するの必要を認む。曰く、數千年前に發生したる一種の宗敎に固着し、之を迷信することは、種々の惡俗を生ず。之を株守する國は大抵衰亡せざるはなし。日本は支那の學術、支那の文明を受け、文學、美術、道德、社會の上に利益せること少からず。又印度渡來の佛敎に對しても、大いに謝意を表せざるべからず。然るに其の持ち來たせる文明の本國たる印度は既に亡び、支那も亦衰微の極に達せり。而して其の感化を受けたる日本のみ如何にして反對の比例に、勃興せしかといふに、日本は儒敎又は佛敎に就いて、弊害の在る所を捨て、利益のある所のみを攝取せるがためのみ。而して儒佛二敎も亦從つて日本化せるが故に支那印度の如き慘禍に罹るを免れたり云々と。淺者の言なりといふべし。

顧みるに中世の神道家吉田卜部兩氏の唱ふる所、或は天臺の一心三觀の說に據り、或は眞言三大の義を牽附せる如き、粉飾服裝の甚だしきものあり、之を以て神道の本義なりとは、固より見るべからざるも、亦發達階段の初級に在るものと見て可なり。北畠親房卿に至りては、或は儒道に據り、或は佛說を引き我大道を闡明せんと試み、頗る肯綮を得たるに近きも、未だ以て全く首肯するを得ず。山崎闇齋の垂加派に至りては、學者多く其の怪僻を哂ふと雖も、亦是れ進步の一階段のみ。國學派興以來、諸家翕然として古道の闡明に勉め、大に發明する所あり、從來表面に附着せる外國的色彩を除却し、所謂復古の體を成せりと雖も、而も外來思想を、甚く排除せるにあらず。本居平田の兩大家すら、儒佛を排斥して其の成語を口にするを嫌ひたるも、內容に潛める思想は竟に如何ともする能はず、却りて傍に老莊の說を借り來りて、古神道を說明せるの迹なきにあらず。是れ當時に於る學問思潮の然らしめたる所、蓋し人は如何に高邁卓落の識見を有するも、一代の風潮以外に跳出すること能はざるを以てなり。さはいへ我が古神道は本居平田其他諸名家の硏究に因り、ますます光輝を揭げたることは、吾人の贅言を俟たざる所にして、明治の王政復古も實に是に淵源する所多かりき。要するに神道は儒佛二敎より多分の滋養分を吸收したることは、否むべからざるの事實なりとす。

近古の神道中、別に一異彩を放てる水戶派の如きは、純然たる儒的解釋を取り、其の祭祀典禮の形式まで儒法に據る所多かりき。是れ名君義公が大日本史を撰修するに當り、自ら到達したる見地より出でたるものにして、他の國學者流と其撰を異にせり。義公と相前後して、會津の神公(正之)備前の芳烈公(光政)の如き、共に神道を崇び以て名ある諸侯なりしが、いづれも儒敎儀式を以て潤飾する所ありき。此の方式を取捨選擇することは、之を現今の朝鮮に施すに、極めて便にして、且つ其の習俗と決洽する所あるべきは、吾人の疑はざる所なり。

國本培養論(一)

中井錦城

京城日報に過日其の論說欄內に提示したる本立國論なるものを掲載せり、是れ余の最も[illegible]たるものとなす。思ふに農業は[illegible]の生產なり、工業と雖も[illegible]多く材料を農產物に仰ぐ、故に眞正の生產者と呼ばれ實業家として發達せらるべきは農業者にして、工業者之に次ぐ、彼の商人に至つては、無論生產者たる能はず、殊に運送業者、銀行家の如きは、決して實業家と稱す可らざるなり、農業の尊重すべき既に此の如し、されば農業は之を國本なりと斷定するも、敢て不可ならず、世の所謂國本なるものは、夫れ全く農業の謂ならんか、今や世界の富國を見るに、小麥に、玉蜀黍に、砂糖に、棉花に、國力を充實するものの盡く農產物にあらざるなし、獨逸が四隣敵兵を受け、不撓不屈、四歲の久しきに亘り、敵兵をして一步も國內に足を踏み入れしめざる所以は、農業の發達し、從つて工業の隆盛を致し、國力充實餘勢の外に逆發するものあるに因る、朝鮮は八年前日本に併合せられ、帝國の領土となりたる以上は、茲に其の農業の發達を圖り、以て帝國の國本を培養し、國力を充實せしむる道を講ぜざるべからず、是れを以て現總督就任の日に當り、普く下僚に訓示して、殖產興業に努むべきを以てせられたり、謂ふべし現總督施政の大方針は殖產興業卽ち國本の培養に在りと、然るに朝鮮に於る農業の勸獎は、猶未だ隔靴搔痒の感を免れざるもの多し、余の國本培養論を草する寔に此に基づく。

朝鮮の農事を改良するには、制度の改正を先となす、現行の地方官々制を案ずるに、道廳に第一部第二部を置き、第一部は地方行政と勸業の事項を管掌し、第二部は收稅と理財の事項を管掌せるが、第一部長の事務は尨大に失し、其の處理に苦しむ場合尠からずして、專ら力を勸業に致す能はず、依て第一部の管掌は地方行政のみに止め、別に勸業の事務を割き、之を第二部と爲して獨立せしめ、從來の第二部は之を第三部に移すべし、斯せば新第二部長は專心焦慮勸業事務のみに熱注し、大いに農事改良の實を擧ぐるを得べし、此制度は近來內地に於ても實行したる制度なりと聞けり、次に副業勸獎吏員を置くことにして、農家は本業のみにては、衣食料より小使迄の費用を其生產物に求むる爲め、自然是が利益を減殺すること、なるべき故に、是非副業の所得を以て、生活費を補足するの必要を見る、而して其農家が如何なる副業を營み又如何に副業を爲すべきかは、各部に副業の事務を管掌する吏員を置き、之を勸獎せしめざるべからず、近來內地に於ても農商務省より特に地方の副業勸獎吏員に向つて手當補助金を支給することとなれり、獨逸の農家が其富を成したる所以は、卽ち此の副業の進步に因るを知れば、副業の勸獎は之を等閑に附すべからざるなり、更に又地方に健全なる農村を作り、國家の潛勢力を養成せんが爲には、現行の如き特別の面に限り、日本人面長を置くの制度に一步を進め、何の面にも內地人面長を置くを得ることに改正せざるべからず、內地人にあらざる以上は、以て鮮人の興望を負ひ、事務の才幹を發揮して、健全なる農村を作り難し、彼の政府の保護を受けつゝある東拓會社の總裁は曾て余に語つて曰く、會社が今猶內地の移民を朝鮮に招致するは實に朝鮮の內部に於て、健全なる農村を作らんと欲するに在りと、思ふに總督は唯內地移民を招致するも、其面長に內地人を推擧せずして、能く目的を遂し得べしと爲すか、今や多くの鮮人面長たるもの、興望あれば事務の才幹に乏しく、事務の才幹を有せば興望なく、能く兩者を兼ぬるもの殆ど無しと謂ふも不可なし、是故に其面長たることを嫌忌せり、されば內地人の面長を指命するも、決して鮮人の不平を買ふの患ひなく、否內地人面長を指命すれば、始めて同化の政策を實行するを得べし、近來政革を行ひたる郡守の任命の如き、强て內地人を以てするの必要なきも、獨り面長に至つては、內地人にあらざれば、到底農村振興を期すべからざるなり。

◆山羊 ―獨立門外にて― 古賀莉雄筆

邂逅

佐々木峯雪

虐待(十二)

『何錢お掛ひしますんです』

『二合だから一寸お待ち……二六、十二錢の、それから鹽が二錢』と目を瞑つて勘定して『みんなで十四錢戴きます』

『ちや此鹽花も……』と不平らしい顏を爲た。

『彿うです、鹽代二錢戴きます、今日此せち辛い時節でせう、物價は騰る、米は一升四十錢もするんでせう、眞成に此鹽二錢位で賣る家は、私んとこよりありませんぜ』

『でもわたし鹽は欲しく無いんですから、家の叔父さん今夜でも明日の朝でもお戻し爲ますから、どうか十二錢だけ取つて下さい』と拜むやうにして云つた。

『はゝゝゝ』は小僧は笑つて『それぢや直ぐ持つて來て下さいよ』と金を受け取つて彼方の方へ行つて了つた。

『有り難う……』庄吉は暖簾を潜つて明るい表町を蹌踉めきながら

『あゝ僕腹ぢいいなんだか倒れさうだ、あゝふら/\爲て來た』と電柱に身を寄せて『僕にはお父さんがあるんだつて叔父さん云つた、さう云へば幼い時お友達から笑められたこともある、一體何處に居るんだらう、生きて居るのか知らア、若しお父さん生きて居るなら、僕お父さんの處へ行きたいや』よろ/\と蹌踉けて、危く倒れようとするのを僅に電柱に捉はつた。

『僕が六歲の秋お父さん他國へ行つたと云ふんだから、五歲、六歲、七歲、八歲、九歲、十歲、十一歲で丁度六年になるんだ』と指折り數へて『一體何處にお父さん行つてるんだらう、あゝ見たい、お父さんの側へ行き度い、お父さんの側へ行つたらお隣の富ちやんや、米ちやんの家みたいに學校へ行けるだらうに、僕學校へ行き度い』[illegible]國でも分らぬ父[illegible]、若しや此[illegible]町を步んでも、叔父さんのやうに僕に[illegible]くから飛び起きて、力無い肩に籠を荷つて豚の喰れる程に[illegible]だつたら叔父さんのやうに僕に餓らい目に逢はせまい、お飯も充分に食はして學校へもやつて呉れるだらうに』と、隣の[illegible]の孝三の身を思ひ出して、只管羨みの思ひを胸に抱くと共に、父を慕ふ心が一杯になつた。

『何故お父さんは僕をみんな叔父さんに頂けたんだらう、何故僕を一所に作れて行つて呉れなかつたんだらう』

庄吉は小さい胸に斯う思ふと、置き去りにして他國へ行つた父が恨めしう思はれる。

『それでもお父さん生きて居るかしらア、生きて居ても僕がこんな目に逢つてゐるのを知ら無いんだらう、ほんとに夢にでも知れて、僕を迎ひに來て呉れると好いんだに……あゝ辛い、身體がふら/\する、眼眩が爲る、僕どうやら倒れさうになつて來た』

庄吉はほろり/\と落る淚を、拭ひもせず、只懸命に電柱に凝まつた。

『燒芋でも買つて喰ひたいが、こんな事爲たら叔父さんはまたどんなに叱るだらう』と叔父兵衞を想ひ浮べて『けれど僕もう腹ぢくつて/\步けや爲無いんだもの』

庄吉は堪ら無くなつて泣出して『寧そ燒芋二錢買つて食はうかしら、宅へ歸つたツて冷たいお粥だけだもの、それもほんの少しばかり殘つて居るだけだが、大部分は叔父さんと叔母さんが二人で食つて、僕にや僅かお椀に一杯しきや呉れ無いんだもの、僕どうしよう、燒芋を買はうかしら』

庄吉はやがて燒芋を買つて、少しの元氣を附けると辻の煮物屋で叔父の買つて來いと云つた鰯の切れ目を六錢で買つて、暗い路次へ入ると片手に酒の壜を提て、暗い路次をよろけながら自分の宅へ歸つた、それは家を出てから半時程經つた頃であつた。

暗い空からは大粒の雨が降り出した。

參謀本部檢閱濟
東西伯利亞明細圖
百萬分一 四枚一組 定價二十錢 送料八錢
本圖の詳密精細なる是實に東洋第一と云ふ可し參謀本部の檢閱を經て之を證す[illegible]
◎前號掲載定價二十錢とせしは實價二十錢の誤り
京城長谷川町朝鮮ホテル前 小林又七朝鮮地圖部 電話一一三 振替一六〇三

左官賃金値上廣告
今般組合決議の上十月一日より左官賃金左の通り相定め候也
一日 金貳圓七拾錢也
大正七年十月一日
京龍 左官業組合 組長 林喜太郎

浪六先生新著◎
臨終の旅行
汽車も汽船もなく發足地と到著點の知れざる人生の旅行は卽ち人間の運命紀行なり
[illegible] 東京 文明館 大阪屋號

世悩人情術
婦人之友十月號
手前勝手(事件の教訓) 智慧の木の實(生活問題の解決の道)
成功したる夫婦の實例
失敗したる夫婦の實例
食料問題 パン燒方
長篇小說 野茨(初戀の卷)
長篇小說 幻影(家庭劇)
[illegible] 東京雜司ヶ谷 婦人之友社

◉新製 毛綿の需用期來る!!
毛綿は普通綿より輕量にして保溫力に富み然かも價格低廉なる事は既に世の定評あり目下當社は露西亞よりの注文品製造に忙殺されつゝある盛況に付此際至急多少に不拘御用命被下度候
京城府青葉町 (電話一六五番)
朝鮮製綿株式會社

婦人公論 秋季特別號 女のアラ號
◉雜誌界空前の大驚異
私の嫌ひな女 學者軍人政治家文學者實業家等六十餘名家
◎此一篇のみでも見逃す事は出來ぬであらう
◇男女優劣論…三宅雪嶺
◇女を弱からしめし者は何ぞ…高島米峰
◇アラばかりの日本の女…茅原華山
◇新代の要求に副はざる結婚…馬場孤蝶
◇ダイヤモンドと醜き缺點…吉田絃二郎
◇內體美の上から觀た婦人…石井柏亭
◇職業は果して婦人に適すか…本間久雄
◇社交を解せざる婦人…[illegible]
◇心理學上の婦人の弱點…高島平三郎
小說
◇お種の心…上司小劍
◇美人畫…中村吉藏
◇鍵を失つた女…小野美智子
◇白い鳥…田山花袋
◇傾城大橋…池田大伍
◇嵐の曲…長田幹彥
女に生れて來た悲み [illegible]
▼特價四拾錢 郵稅貳錢
東京市本郷區西片町十 振替東京三千四番 中央公論社
◉婦人界反省の好資料

全南繩叺製造販賣組合改稱
朝鮮繩叺株式會社
出張所 木浦 松汀里 光州 長城 羅州 獨橋 南平 咸平

模造品續出に付御注意
オキシパサー
[illegible]
定價金參拾九圓
京城日報社代理部

營業科目
鴨綠江材並日本材原木賣買
製材(機械挽) 製函 製板鉋賃掛
宮下木材株式會社 安東縣出張所
商號 宮下洋行

左官建築材料
セメント 石灰 硅藻土 火山灰 左官材料 一式 各種色土 砂 布海苔 苆 各種塗料 品 左官用、東京鏝 煉瓦用、東京鏝 各種建築材料 各種耐火煉瓦 各種土管 瓦 煉瓦 各種坊類製造 特約販賣 石灰特約販賣
京城旭町一丁目 卸商 戶澤商店 電話九八四番

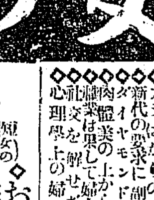
最新刊
[illegible]
◎ゲーリー式の學校
戰後の事業
京城本町 大阪屋號 電話 振替

購買入札
朝鮮總督府

男女有望業務 無試驗開業出來る
開業無代進
特典規定

大阪朝日新聞連載
死美人の大疑獄
黃金館

優待券 割引あり
朝鮮總督府遞信局 購買



◇獨逸對勃國魂膽

内閣更迭說＝勃皇帝墺國蒙塵
聯合側に有利の解決を告げん

勃牙利對聯合國は休戰狀態に入りし爲め親獨系なる勃國皇帝は墺匈國に蒙塵せり尚今回墺國軍隊が勃國救援の爲め急遽勃國に進入し同時に内閣更迭說さへ傳へらるゝに至れるが新首相たらんとするブシエフは前首相同樣金箔付の親獨系政治家にて獨墺は武力を以て勃國を救援し現マリノフ内閣を倒し再び勃國を中歐同盟側の勢力圈内に復歸せしめ這般の休戰條約を事實上破棄するに努めんとしつゝありと解せらる併し右は獨墺側の報道なれば遽に信じ難く獨逸としては巴爾幹の一角が崩潰するとは國内の士氣に關する事大なるを以て極力對勃策を講じつゝある事推測に難からず聯合國に於ても之を豫期し休戰講和の目的を達成するに努め居れるを以て結局聯合側に有利なる解決を告ぐ可しと（消息通談東京特電）

◇佛軍サンカンタンに入る

巴里來電＝佛軍は一日サンカンタンに入れり（紐育電報）

▲ベルン發某所來電＝獨紙フオシツシエ、ツアイツングの報道に據れば墺國軍隊の勃牙利進入は一般に好影響を與へたり尚勃國内閣組織はラドスラオフの内閣文相たり且つ議會に有力の味方を有するブシエフ任命さる可く尚多數の將軍も入閣する筈なりと

◇獨帝宰相辭職聽許

伯林よりの報道に依れば獨帝は宰相ヘルトリング伯の辭職を聽許せりと外相ヒンツエ副宰相フオンパイエルも亦辭職せりと（アムステルダム電報）

◇伯林に講和運動

ロイテル社の確聞するところに據れば九月廿八日伯林に講和示威運動起り群衆は勃牙利公使館前に集まり喝采せり暴徒は警官の干渉を避け多數の網隊を破壞せんと試み種々の亂暴を働きたり（倫敦電報）

◇獨人所有工場を沒收せよ

敵國人財產管理官パ氏の演說

敵國人財產管理官パルマー氏は自由公債に就き演說して曰く余は戰爭終結後も米國に於ける獨人所有の總ての工場を之れによりて得たる利益と共に沒收す可き法規の制定に贊成なり余は總ての獨逸資金を全然且つ永久に米國產業界より排斥す可く敵國の資本主は米國にある工場より大なる利益を得つゝあり此不當なる利益の蓄積は戰後之等の人に配當さる可きを感ずる時之れを成行きに放任するは不道德且つ不合理なり（合同通信電報）

◇伊國の援露宣言

伊國は聯合國に倣ひ本月初旬援露宣言を發する由又伊軍は近々天津駐屯の二千二百の軍隊を派遣してチタ方面に向はしむる筈なり（北京特電）

◇獨軍烏拉爾に襲來

獨軍烏拉爾西方迄襲來す俘虜のみならず新手の獨兵有るもの、如し（浦鹽電報）

◇東淸守備司令官宣言

東淸鐵道守備司令官陶鮮貴氏はガイダ將軍の命ぜしガドレス大佐の東淸鐵道沿線地帶に於ける宣言を以て支那の主權を侵害するものと認め一般住民に對して該宣言に耳を假す勿れと宣言せり（哈爾賓特電）

◇黑龍州住民救助

軍司令部發表＝黑龍鐵道沿線地帶の住民は極度の物資窮乏狀態に陷れるを以て日本軍司令部にては黑龍住民に對し麥粉、砂糖、食鹽等を供給すると共に衣料を引受けつゝあり（浦鹽特電）

◇原内閣と支那 輿論

原内閣成立に對し支那人の輿論は概して滿足にして殊に今春政友會が對外政策として日英同盟を經と爲し日米協約日支親善を以て緯と爲すべき旨聲明を發表したるに依りて見れば日支國交の上に大いに改善さるゝ處あるべしと論じつゝあり（北京特電）

◇米穀買附打切

市價緩和と豐作とに依り

穀類收用令に據る政府の内地米買附は近時米穀市價漸次緩和せると本年の豐作とにより今後自然的配給に俟つを得策とし茲に買附を打切る事とせるが之れが爲米價は一時昂騰するやも知れざるも新穀出廻りにより遠からず平調を保つに至る可き見込みなりと（東京特電）

◇へ元帥動靜

ヘーグ元帥はカンブレーの方面に進入せり（倫敦電報）

◇步兵第廿七旅團長後任

步兵第二十七旅團長志岐守治少將は此程或重要の職に就きたるを以て三日左の通り後任新補の辭令ありたり（東京特電）

第十五師團參謀長陸軍步兵大佐　山田軍太郎
任陸軍少將
補步兵第二十七旅團長（水戶）

◇黑井司令官北京行

黑井旅順要港部司令官は山口參謀を隨へ二日北京に赴けり歸滿後直に上京の豫定なるが何等か時局上の要件出來せるもの、如し（大連電報）

◇天長節御祝宴御取止め

三十一日天長節祝日に於ける御祝宴は本年御取止めと相成る可き御沙汰ありたり右は戰爭に就き御軫慮の思召しに出でさせ給へる趣き洩れ承はる（東京特電）

◇青山男爵逝去

貴族院議員男爵青山元氏は豫て病中の處四日遂に逝去せり（東京特電）

◇原首相挨拶

原首相は三日午前十時大隈侯を早稻田に訪ひ就任の挨拶を述べ夫より犬養國民黨總理、加藤憲政會總裁を歷訪同樣挨拶を爲したり（東京特電延着）

◇野田遞相敍位

三日左の通り敍位御沙汰ありたり（東京特電）

遞信大臣　勳一等　野田卯太郎
敍正四位

◇警保局長任命

三日左の通り辭令ありたり（東京特電延着）

青森縣知事　川村竹治
任警保局長（一等）

◇内相秘書官

三日左の通り辭令ありたり（東京特電）

任内務大臣秘書官　瀧正雄

◇新政會對新内閣態度

新政會にては三日在京代議士會を開き原内閣に對し前内閣同樣善意中立を守るに決せり（東京特電）

◇今村財務官南下

哈爾賓にありし露國駐在海外駐剳財務官今村次吉氏は四日平壤丸にて淸津通過南下せり（淸津特電）

◇青森縣知事任命

三日左の通り辭令ありたり（東京特電延着）

任青森縣知事　澤田牛麿

◇現在正貨總額

大藏省調查九月三十日現在正貨總額は十四億二百萬圓にて十四日現在に比すれば八千百萬圓の增加なり（東京特電）

◇東京期米奔騰

一日初會以來奔騰續きの東京定期米は三日に至り不意に新規買物蝟集し先物は一氣に三十四圓六錢迄奔騰し十一月限解合値段に比し約四圓六十錢方の奔騰を示せるも大阪當限の四十一圓落、先物三十六圓臺を初め各地に比すれば著しく割安なるより地方筋の買物あり右は過般の暴風雨と政府の買附打切りと新農相が不干涉方針なるより買方安心を得たるに因るものなりと（東京特電）

◇日米石油値上

日米石油は近く五十錢見當の共同値上を爲す可く右は過般英油が單獨にて一圓方の引上をなしたる爲めなり（東京特電）

◇辭令

四日左の通り辭令あり（東京特電）

東京高等師範學校教授　永岡秀一
朝鮮へ出張を命ず

◇桑原長官赴任

桑原忠淸南道長官は四日朝鏡城發同日淸津より平壤丸にて赴任の途に就けり（淸津特電）

◎新遞相歡迎

遞信當局者談

朝鮮に於ける今後の遞信施設は内地遞信省の事業と關係あるもの少しとせず從來とてもその交涉は密接なりしも今後は一層密接を加ふべし此時に際し野田氏の如き朝鮮の事情に精通せる人が遞信大臣の椅子に就きたるは遞信局事務の處理上便宜多かるべしと思惟し新遞相の就任を歡迎し居れり

◎新株募入決定

島雄鮮銀課長談

朝鮮銀行新株三萬株の公募成績に付朝鮮銀行本店に達したる報告に付島雄庶務課長は曰く新株の應募總數は十八萬三千四百五十株にして六倍強を示したり而して内百四十四圓五十錢以上二萬七千三百九十株百四十四圓以上一萬二千七百株百四十三圓五十株以下十四萬三千三百六十株なるがその募入は百四十四圓五十錢以上を全部募入とし結局三萬株中二千六百十株の殘餘を生ずるを以て百四十四圓の申込に對しては五十株以上の分に對し五十株に付十株を割當て尚ほ若干の殘餘株は百四十四圓五十錢にて現物團の引受けと確定したり結局百四十四圓にて五十株以下の申込みをなせしもの並に百四十三圓五十錢以下全部募入外れとなりたる譯なり

◎釜山正米暴騰

四日正米暴騰一圓五十錢高となり一石三十八圓五十錢又中白米は二圓五十錢安となれりと

◎廣梁鹽田擴張

總督府にては嚮に廣梁灣鹽田の擴張計畫を立て本年度早々工事に著手して鎭南浦後藤組請負の下に工事進行中なるが鹽田擴張地は廣梁灣鹽田に隣接せる平北龍岡郡德洞に得べく本年度内には少くも百五十町步の竣成を見るべく去る九月一日より德洞に專賣課廣梁灣出張所の派出所を設置し目下廳舍官舍の建築に著手しつゝありと

◎資金集散豫想

十月中に於ける朝鮮資金の集散概算に付朝鮮銀行の調查を聞くに收納及び散出左の如しと

▲收納

國稅及準國稅	六六五、九八七、五〇
諸會社株金拂込	二六三、〇〇〇、〇〇
計	九二八、九八七、五〇
一月以降累計	一一、九四五、五九八、〇〇

▲散出

諸會社利益配當	四、〇〇〇、〇〇
勸業債券利子	一、九一一、四五
計	五、九一一、四五
一月以降累計	四、二七二、三三〇、六四

◎朝鮮精米會社成立

本年六月設立許可の指令を受けたる朝鮮精米株式會社は愈十日成立し左記の如く役員を選任せり▲取締役天日常次郎、小宮萬次郎、堀田鹿一、荒井初太郎、半田瀧吉▲監査役賀田金三郎、鍛冶米藏

◇雨中の大激戰

東宮塹壕障碍物破壞實況御覽
壯觀を極めし攻防演習第三日

前日の大激戰にて北軍の猛射せる火砲の威力に依り大損害を受けし第二線陣地は殆んど潰滅の危地に陷りたる南軍は尚頑強に抵抗を繼續し敵の

◆塹壕内に着戰し擲彈、手榴彈、照明彈、雷擲を用ひ刻々雨下する中を進入し來たる敵に向ひ大規模の突擊を爲せり二日夜半より又も降り出だせし雨の中を惡戰苦鬪せる結果塹壕内兵員中より多數の患者發生し之等の運搬にも南軍は少からず苦き經驗を嘗め漸く第二線陣地の

◆一角を保持しゐたり北軍は更に深夜奇襲的行動に依り陣地攻略に努め駐營主力第廿六旅團左翼高地に於て輕重兩榴彈砲に激烈なる攻擊を加へ南軍は恨みを飮みて第一線陣地に退却し三日の夜は明けたり第一線陣地に

◆陣容を整へたる南軍は勝ち誇りたる北軍に對し三日拂曉大逆襲を試みたる爲め北軍は周章狼狽し十五珊榴彈砲を以て敵砲を制壓せんとせしも南軍は既に二十乃至三十米突に肉薄せる爲め大砲を發射する能はず午前九時三十分東宮殿下御觀覽の高地に

◆台臨の頃南軍陣地附近にて戰鬪開始し北軍は二十四珊榴彈、大火砲、野砲等にて敵を苦しめ北軍亦南軍の逆襲に惱まされ壕内に多數の患者發生したり前日來戰ひ續けし北軍砲兵隊は早朝遂に敵陣附近に砲列を敷き十五珊榴彈砲にて障碍物

◆破壞に努め飛行機は砲彈飛の中を偵察飛行を爲し壯觀極まりなし午後一時より休戰狀態に入り三時より戰鬪再開されたるが東宮殿下には此の日親しく塹壕障碍物破壞の實況御覽あらせられたり（東京特電）

◎外國宛小包荷造

朝鮮より外國宛の小包郵便は船腹不足のため往々遲着又は遺失を生じ荷捌み少からざるに付差立人はその包裝の際荷造りを嚴重になすの必要ありと遞信當局は語れり

◎黃州郡郵便局落成

黃海道黃州郡郵便局は位置一方に偏せると事務室朽壞の爲め同郡兼二浦安里に新築中の處此程落成したるを以て同所に移轉事務開始の旨十月五日告示さるべし

◎鮮銀の異動

朝鮮銀行にては九月三十日附にて庶務局長中村光吉氏の退職辭令を出したるがその他の幹部にも若干新任異動あり略ぼ銓衡を終りたる模樣に付不日發表すべしと

◎勃國休戰影響

勃の離脫に伴ひ土墺亦動搖せむ

勃牙利は聯合國側の休戰條件を承諾し之に調印せりとの外電に就ては未だ其筋に確報なきも一旦右の如く明示されたる以上は其の事實たるを疑ふ可からず勃國今回の提議は同盟各國の將來の運命を自覺するに至れる爲めなるべく聯合國總司令官の提出せる四箇條の休戰條件は

▲相當苛酷のものなりしに拘らず勃牙利が直ちに之を承諾したるを見れば勃國の窮狀察すべきものあり獨逸がアに向ひこれを崩壞せしめんとするも時既に遲く今日に至つては獨逸の如何なる手段も竟に何等の效果を奏せざるべし而して既に休戰成立せる以上勃牙利が參戰當時の如き曖昧なる態度は斷じて聯合國の許容する所に非ず即ち休戰と共に聯合國は勃牙利に對して直ちに講和を強要し勃軍の進擊せる各方面より撤兵せしむるは勿論單に同盟國側より離脫するに止らず進んで聯合軍に加擔せしむる事となる可く其結果土耳古と獨墺間の連鎖は

▲全然遮斷せらるゝに至るを以て土國も亦勢ひ國内の講和熱を激發し遂に勃牙利と運命を共にするや必然にして一方墺國は此形勢急轉を好機とし漸く獨逸より離反せんとするの態度を露骨ならしむるに至るべきは想見するに難からず斯くて獨逸は全く手足を斷たれ孤立無援の狀態に陷る可く即ち勃牙利今後の態度は大局の和促進に對し頗る重大なる關係を生ずべき也（東京）

人事往來

▲藤野正年氏（愛媛縣選出代議士）四日夜入京朝鮮ホテルへ
▲飯塚重五郎氏（三井物產社員）同上
▲蜂須賀富江氏（三井物產社員）同上
▲近藤新治氏（三井物產上海支店長）同上
▲馬越恭平氏　四日夜退京北行
▲ランシ氏（佛人上海貿易商）同夜退京

中秋分韻得佳　長谷川秋水
主人愛客酒杯傳、風月樓頭景更妍、……

鳥瞰雜俎

▲獨逸の橫暴は有名なものだが其の橫暴が又却々巧妙に行はれて居る▲白耳義なぞでは老若男女の別なく皆獨逸の軍役に服從するを強ひる▲無論白耳義人は何くも何人たりとも獨逸の軍役に服從するのは不服だ▲だが何やかやと云つて獨逸の強制を拒まんとする▲而し之に對して獨逸が暴力を用ふる事は容易だが其處に獨逸の辛辣が存する處である▲即ち若し白耳義人が何等かの理由の下に服役を拒むと獨逸は忽ちこ三日間の食事を停止させ機關樣の鐵窓に收容して仕舞ふ▲夫から空腹に堪へられぬ頃になると其處から引出して其れこそ珍しい佳肴を前に揃へて食つて宜敷いとの許しが出る▲餓鬼腹を抱へて居るので大喜びで箸を執らうとすると『オイ鳥渡待て』と來る▲次に今後如何なる事があつても必ず勞役に服すると云ふ事を何箇條か書いてある誓書に署名せよと迫る▲斷食の結果身體は疲勞する精神は朦朧となる意識は不鮮明で殆ど自己と云ふものゝ凡てを失つた折も折▲眼前に美食を出されて手詰の談判を喰ふのだから堪まらぬツイ無意識の間に署名する▲こゝなる全くの餓鬼攻めで文句なしに勞役に引出すのは悲慘だチン／＼お預ではやり切れぬ▲講和會議の時には聯合國も獨逸全權委員に此の手を喰はしてやれ

◎下旬氣象概況

九月下旬上半は高氣壓は蒙古より沿海州に亘る大陸方面を占め……の降雨を催したるが其の他は間々局部的降雨を見ざる所あるも概ね……あるのみにして此の際一般に多少……南部地方は著しく寡小にして……大部は僅に一杯を測りたるに過ぎ……年位の平年內外に止り特に東岸及び……元山の二七度之を高極とし木浦の二七度〇之に亞ぎ過半は二五度內外なりしが……（總督府觀測所）

龍岩浦	四三	二	一五、五	二二、九
平壤	三〇	三	一七、二	二五、三
京城	一六	二	一七、九	二六、五
仁川	二二	三	一八、六	二五、六
全州	[illegible]	三	一七、九	二六、三

◎第二回傷病兵

百三名歸著

……他將校、重輕症等多數本船へ出迎へ輕傷病者は徒歩を以て重傷病者は擔架にて艀舟へ移乘鐵道棧橋より衛戍病院へ收容したるもの……外科十八名中病內科將校一名同下士以下十八名計九十一名外に下關下……なるものなりと（門司）

◎店員表彰會

京城商……會に於ては九月三十日を以て一旦打切りとなしたるも其後尚寄附金申込者あるため引續き續行し居れ……

……歷に關する有益なる訓話あるべし
勤續七年以上首席京城支店東振義雄▲同五年以上山邑京城支店楓山季市▲同三年以上百合正宗支店大島金次▲同三……

保險契約包括移轉に付公告

神國生命保險株式會社は保險業法第二十條の二乃至第二十條の十二の規定により其保有する有效保險契約の全部及び復活請求權を有する失效保險契約の全部を有隣生命保險株式會社に包括して移轉すべき契約を大正六年十二月十日同會社と締結し爾來成規の手續を經同法第二十條の四により農商務大臣へ保險契約移轉の認可申請中の處大正七年九月廿一日付認可を受け候に付保險業法第二十條の八の規定により此段公告仕候也

大正七年九月二十一日

東京市日本橋區南茅場町四十四番地
有隣生命保險株式會社

東京市日本橋區南茅場町四十四番地
神國生命保險株式會社

現在契約高……金五千貳百餘萬圓
諸積立金……金六百五拾餘萬圓（大正六年度末）
支拂保險金……金五百四拾餘萬圓（同上）

有隣生命保險株式會社
社長　飯田延太郎

銘仙新柄陳列會
十月五日より十日間（階上に於て）
◎自慢の珍柄多數に取揃ひ申候

見切品大賣出し
十月十日より五日間
◎格安の見切品豊富に取揃ひ申候

何卒賑々しく御來觀御用命の程奉希上候

ちゝぬや
京城本町

アッ この中學だ！この模範中學だ!!! 選定を誤ると一生の大損害 眞面目な諸君は皆本會へ

日本一の
模範中學講義錄

本講義錄は在來のあらゆる講義錄を參照して一番模範的な組織とした最新式のもので現在東京の中學校に毎日教鞭を執つてゐる一流の專門教授が自ら執筆した生きた實際的教授である而して一見に如ずハガキ一本を投じて會則と見本を一覽すれば他のものとはトテモ比較にならぬ內容の完備と事實に於て會費の一番廉い理由が明瞭に判る（今申込めば大特典あり至急を要す）

◎見本會則申込次第進呈
東京市神田區三崎町三丁目
大日本模範中學會
電話本局五二一九振替東京二九四七〇

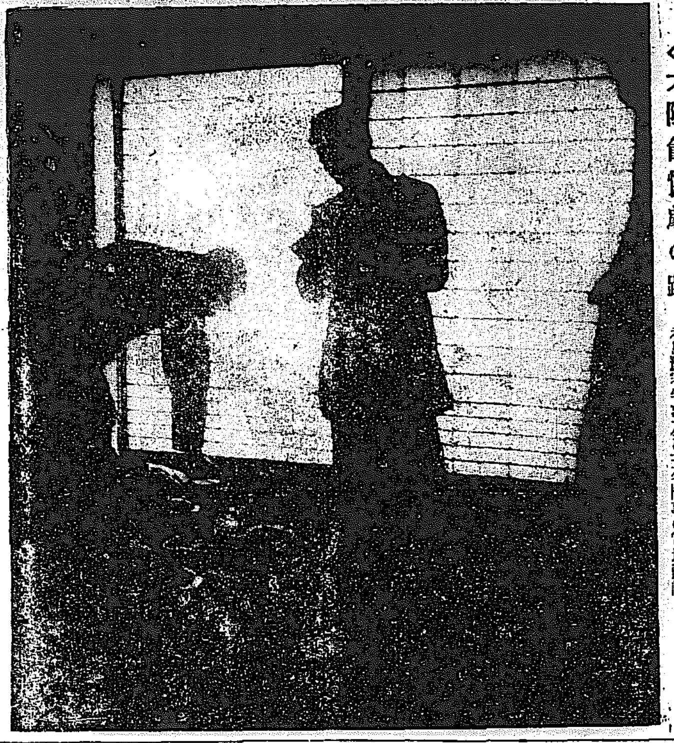
[illegible]那大陸に高氣壓發達し漸次東方に移動したり而して低氣壓の出來は…に旬末北部を通過せるもの一回[illegible]かにして北西部鴨綠江沿岸は五〇粍內外を測り平年より三粍内外の過量なりしも其の他過半の地は平[illegible]り中江鎮の一二度餘の間に在りて前旬より概ね一度内外の下降を見平年に比すれば南部内陸地方は二度内外の過低を示せり旬中最高氣溫各地の雨量及び氣溫を示せば次の如し

地名	雨量	雨天日數	平均氣溫（攝氏）	最高氣溫（攝氏）
[illegible]山	五七	三	一四、〇	二四、一
雄基	八	二	一五、四	二三、〇
城津	一	一	一六、六	二四、六
元山	四三	三	一七、七	二七、三
江陵	八	三	一八、七	二六、五
大邱	一	一	一七、三	二六、四
釜山	一六	二	一九、四	二五、八

○[illegible]第十二師團第二回[illegible]傷病兵は病院船[illegible]丸に乘船し二日午後三時門司入港大隈基地兵站司令官益田運輸部門司支所長其[illegible]驛發城野驛へ向ひ同驛降車小倉衞戍病院に收容せり今回の傷病者は負傷將校一名下士以下十八名平病[illegible]なり大尉の負傷は八月二十七日夜ニコリスクに於て敵情偵察の際敵兵と誤認して支那兵と衝突負傷し[illegible]

[illegible]年以上の勤續者に對し同組合長前田龜藏氏より賞牌及び賞狀を授與し終つて本莊彌之助氏より自己[illegible]

○救濟會寄附 三年以上[illegible] 京城救濟[illegible] し昨計九萬九千三百三十三圓六十八錢に達し居れりと



◇太陽館慘劇の跡 永島豫審判事及び玉名檢事の實地檢證（記事參照）

○巴爾幹に始つた戰爭は

巴爾幹から平和

◇—の曙光が見え初めた

勃國の休戰は獨逸の致命傷

最近の外電に依れば勃國政府は聯合軍に對し休戰條約を提議し遂に聯合國との間に

◇休戰條約 は調印されたとある右に就き消息通は『若し之が事實だとすれば獨逸にとつて一大致命傷で之で歐洲戰爭のヤマも見えたと云ふものだ』と冒頭して次の如く語る『勃牙利軍の戰況は頗る振はずしてセルビア軍の爲めにはユスキユーブまでも追撃され英軍には其國境を侵されると云ふ有樣であるが加ふるに

◇西部戰線 に於ける獨軍の形勢も頗る悪いところから國内の人心が擾亂し此の上獨逸と提携して聯合軍に當るのが不利だと云ふので獨墺との同盟を破棄して單獨に休戰を申込んだのであるか、それとも獨墺軍と合意の上に八百長的休戰を提議したのかその眞意は未だ判然しないが若しも獨墺と全然無關係で勃國それ自身が

◇窮迫して 單獨にやつたとすれば獨逸にとつて之ほどの大なる打撃は無いさうなると聯合軍では此の上西部戰線に於て獨軍を壓迫し一方バルカン方面から墺太利匈牙利を突くことになるが墺國にはチエツクスロバツクス民族やユーゴースラブ民族が獨立せんとしてゐる矢先であるから此等の民族が

◇聯合軍と 相呼應して立つ事は火を見るよりも明かな事で墺匈國も遂に瓦解して了ひ獨逸年來のベルリンバグダツド政策も全く水泡に歸するのであるから如何に狂暴な獨逸も最早聯合軍に敵することは能はずして

◇兜を脱ぐ に至るから聯合軍が凱歌を奏する時機もあまり永いことではあるまい』

○故大浦邸に 勅使御差遣

故大浦兼武氏薨去に就き畏き邊より勅使御差遣御下賜あらせられたり（東京特電）

○セミヨノフは 齊多へ

記者團も同行

浦鹽にありしセミヨノフ將軍は二日黑木大尉と共に哈爾賓著同日正午十二時特別列車に搭じ齊多に向け出發したり余（本社從軍記者）は東京より來れる從軍記者團と共に豫定を繰上げ同列車に搭じ齊多に向ふべし（四日午前零時發、本社從軍記者特電）

◇各大臣護衛の 警官を廢す

原首相以下各大臣は護衛の警官を廢止する事に申合せたり（東京特電）

○馬賊に拉去されし 巡査は無事

[illegible]警務署へ電報が來た

曩に[illegible]に於て馬賊の爲に拉去せられたる[illegible]警察署分遣所の巡査[illegible]は其後行方不明の處[illegible]一日[illegible]（通化方面[illegible]）[illegible]より奉天[illegible]三日安東警務署に通報ありたり（安東特電）

○佐藤紅綠等 檢擧さる

小說家佐藤紅綠氏東亞俳優三笠萬里子、新派俳優原辰一、同人妻くに、瀧乘一等は二日大阪住吉公園菊月にて八八賭博中檢擧されたり（大阪電報）

從軍行

▽鐵橋の彼方

奉天へ

從軍記者 礫溪生

安奉線に著くと、赤い帽子の驛首や、馬賊に變りしさうな巡査や、鐵砲を擔いだ日本兵などが、物々しくも警戒してゐるので、如何にも國境に來たやうな感じがする、鐵橋での噂に依ると、鐵橋の破壞を企てたり、井戸に毒藥を投げ込んだり、鐵道に枕木を乘つけたりする者があるので

◇物騷窮り なしとか鐵橋一つ越ゑて滿洲に入ると直にこれだ、列車は闇の中をカーン〱と汽笛を鳴らし乍ら走るのが如何にも滿洲式で面白い、連日の疲れで發車すると間もなく寢込んで眼が醒めたのは、奉天の手前の撫安驛で窓を開ければ、地平線の上に赤い雲が流れて、いま太陽が高粱畑の中から躍り出ようとする處だつた

◇奉天驛に 著くと昨日第三十旅團の鐵○○○○○名が、威武堂々、軍樂隊を先頭で分列式を行つたと言ふ事を聞いたので、吉江旅團長に敬意を表すべく下車して宿舍なる瀋陽館に訪れた後、鐵道馬車と言ふ時代錯誤の代物や、肉足を驅られるやうな人力車に乘つて奉天城內外を見物した、コセつかない大ざつぱな市街地計畫は、將來何者をか

◇暗示して ゐるやうだ 西伯利が勢力範圍となつた今日、何時までも關東州の片はづれに、引込んで居るやうでは日本の政治的發展は期せられまい、宜しく都府も、滿鐵本社も、滿洲の中心地、亞細亞交通の衝路たる奉天に出て來ては如何で御座るなんて、考へさせられる形勢様に、奉天は感じが大きい、奉天では

◇日支兵の 衝突、鐵道妨害などが頻發する事を聞いた、城內へ入ると日本語がまるで通じない、日本の勢力が、まだ言語の根の上に現はれない以上、日支親善も駄目、勢力扶植も駄目、日支兵の衝突、我軍隊輸送の妨害などは、一面から言へば、日本人が支那人を征服する力の小さく、足りない事を表白するやうなものだ、奉天は前記の如く○○以上の軍隊が

◇淹留して ゐるので、日本人の家と言ふ家は軍人で一杯宿營を引受る料理屋や旅館の者が多く、何處へ行つても斷られる始末なので、室がないので依るに由なく寢るに術ない、鐵道宿舍あたりでは婦人連は所へ預けられて、亭主人も十數日間家に歸らぬのが多いとか、併し、奉天に落ちた金は、莫大なものであると土地の人々は喜んでゐる（奉天にて）

○苦しい吐息の內から

女は何んと云つたか

龍山太陽旅館の短銃騷ぎ後聞

何んな深い事情が潛んでゐる？

龍山停車場前太陽旅館に於て又してもピストル騷ぎが演ぜられた事は昨夕刊所報の通りであるが事件の眞相は今尙ほ取調べ中に屬し發表の自由を憚る箇所があるから今は取敢ず

◇兇行現場 の模樣及び加害者中尾晋三郎（二七）と被害者稻非政代（二四）との關係、斯く慘劇を演じた經緯を探つて見れば斯うである、四日午後一時四十分頃前記太陽旅館奧四番の客室で突然二發の銃聲が起つたので番頭が驚いて四番客室に馳付け障子を開けば驚くまいことか女は

◇寢卷姿の ま、床の間の方に鮮血に染まつて打倒れ男はピストルの彈丸を更に補塡し女に向つて第三發を放たんとするところであつた、番頭が障子を開けると同時に女は『人殺し！』『助けて……』と續けざまに悲鳴を揚げたので番頭は慄へ上りすぐ近所なる龍山憲兵分隊に急報した其間に

◇更に四發 の銃聲が響いたのである、急報に接した同分隊では矢野分隊長以下殆んど總出で現場に駈け付けた時は未だ男はピストルを握つたまゝ、ワナ〱と打慄ひつゝ銃口を女に向けて居た男は憲兵の姿を見るとグッタリと障子に仆れかゝりすぐ一杯の水を求めた、女は胸部及び右手首に二發の彈丸を受け

◇呻き乍ら 跪いて居たが中谷警察醫が應急手當を加へ男はすぐ同憲兵分隊に引致されて行つた、女は重傷を負ひながら割合に明晰な言葉を以て分隊長の訊問に答へて居たが絶えず苦しい呻りを發して居た、やがて龍山十字病院長が來て中谷醫師と立會の結果女は死にはすまいと云ふ診斷であつた

◇三時頃に は經緯に接した京城地方法院から永島豫審判事が著き遲れて玉名檢事が著いたので直ちに實地檢證が行はれたそれが濟むと女は擔架に乘せられて龍山鐵道病院に送られて行つた兇行當時の光景は叙上の通りである

▽內緣の夫婦か

關係ある人々の話

同旅館の主人は云ふ『女は一日の晩から泊つて居りました、男は日に二度も三度も女を訪ねて來るとかありましたが今日まではさほど大きい喧嘩や口論も聞きませんでした』それにどうしてあんな

◇大騷動が 持ち上がつたのか、元より詳しい事情は知りませんがあまり仲が好過ぎたのであるまいかと思はれます』下女の一人は云ふ『二人の間には何かしら深い事情が持ち出されて居たやうです、今日で御座いますか、今日は男は十二時に女を訪ねて參りました。そして一所に午餐を食べお銚子を一本明けましたが變りの

◇二本目を 持つて行つた時、之から外出する心算だが一本位の酒では役に立たぬと云つて吾りました』更に加害者中尾晋三郎の雇主なる龍山漢江通り十三番地陸軍用達商戰業商會の主人は語る『晋三郎が雇つたのは本年の七月からであります、其以前女は大田地方の

◇抱へ藝妓 で愛助と名乘つて居たさうですが私の家へ來た時分は既に男から落籍されて一所になつて居りましたので內緣の夫婦として一緒にまゐりましたのですが私の考へとしては二人の間に始終悶著が絶えないので別れた方がいゝだらうと勸めましたので晋三郎は綺麗に手を切つた樣に云つてゐましたが

◇兩人の間 は其後關係が絶たれてゐなかつたらしいのです、其後晋三郎は[illegible]部主任として働いてゐましたが先月の廿一日に平壤の七十七聯隊に納品の用で出掛けましたが汽車の中で認めた私宛の封書に少々用があるので奉天迄行つて來ると書いてありました』斯う云ふ話を

◇綜合して 見ると男が平壤に行つたとき女も同伴して[illegible]に行き男が宿屋に泊つて[illegible]の問題が醸されたらしい、そして[illegible]兩人は旅行中此宿題を持つたまゝ一日龍山に歸り女は太陽旅館に止宿し遂に四日に至つて兩人の間の問題が破裂したのであらう兩人の間に紛れる詳細の事情は取調べの進捗を待つて詳報しよう

禮の大意（八）

[illegible]江氏講演

次に宜と云ふのは便宜とか或は機宜とかの宜で國語ではヨロシとも又はヨシとも申して融通の利くことである。茲に一寸例を擧げて御話をすれば水は方圓の器に從ふと云ふが其通り水は誠に軟いものである。けれども岩が一滴づゝ落ちて遂には堅い岩に孔を穿つ樣なことにもなる、又雨となり露となつては地上の有らゆる動物植物を育成する。或は雲となり霞となり谷を閉し樹に棚引いては變化極まりない所の

◇天然の美 を發揮する、深山の澗やさゝやかな谷川も流れ〱て遂に海に注げば太平洋印度洋と云ふ樣な大海原になる、更に是を人生に利用する方面から考へて見ると今日の有らゆる文明的機械を動かす本は大概水である、今日の進歩した學問に於ても物質を水にこかして水の媒介に依らなければ化學作用を起し得ない場合が大變に多いのである。是程偉い大きな力の潛んで居る處の水が四角にでも圓くでも容られる

◇容れ物の 通りになる、斯に於ける宜とは先づ斯う云ふ工合に所謂機宜に適した措置をすることを指したのである。以上述べた序節信和宜此五つのものが集まつて禮の本質を構成するのである。夫は丁度吾々の身體に手足頭胴とが具はつて居る樣なもので何れが一つ缺けてもならぬのである。夫で前に述べた通り禮は個人として必要な許りでなく一家として一國として非常に大切なことである。此事を十分に理解し

◇修養に努 めて人格を高尚にし家風を振し國威を揚しなければならぬ。先年今上陛下に於かせられては盛大なる御即位式を行はせられ外國の代表者なども之に參列したが是れ即ち國禮を行うて國の光を輝かすと云ふ大御心から斯る未曾有の盛典を擧げさせられたものである。出摘んで申上げると禮は政治上の法律と同じことであつて道德上の規範である、法律が弛廢したならば

◇亂臣賊子 が跋扈跳梁する若し然うでなくとも國民の禮儀が衰へて仕舞つては矢張り國家を危殆に導くものである。然るに禮の敎への方が本で法律制度は末である。かみつ代のみよのおきてを遵へしと思ふそ己がねがひなりける、あしはらの瑞穗の國のよろつ代もみたれぬみちは神そひらきし、ひさかたの天より下すたまほこの道ある國ぞ今のわか國、あらたまの年の光によろつ民いよいよみかけ天地のみち

◇御製御歌 の御主旨をよく御拜察せねばならぬと考へる、國を修め國の成せこの天神の命に依り伊弉諾伊弉冊の二神が國土を經營せられ禮の道も神代からちやんと定まつたのである、禮樂と並べ所の樂も前に一寸お話申上げた樣に天地の理法に適合して出來て居るものである、此處には樂の方の說明は省くことゝ致すが兎に角禮樂何れに致しても形に囚はれて精神が空虛にならぬ樣に注意することが一番大切であると思ふ。一向纏りの無い御話を申上げて恐縮致します。（終）

○故羽田野氏追悼會 京城[illegible]羽田野茂八氏は豫て別府溫泉に於て療養中のところ此の程逝去せしにより同會有志發起となり五日午後二時より南山本願寺に於て追悼會を執行すべしと

嘉納氏講演會

東京高等師範學校長にして講道館長たる嘉納治五郎氏の來京を機とし左記に依り一般人士の爲め體育に關する講演を請ふ事と相成候間多數御來聽を希望いたし候

日時 本日午後四時半
場所 日之出小學校講堂
演題 「我國民活動の能率を增進せしむる方法」

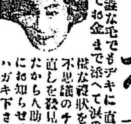
主催 朝鮮新聞社 京城日報社

鍼灸醫院 濟生堂 京城本町三丁目 玄洞 藤井白太郎

私の專門は、胃腸病と婦人病ですが、其他の病氣と雖も、永く病床に呻吟してゐる、仁があつたなら、一度は是非、私にも診せて下さい、さすれば、私は誓つて其の責に任じ、併せて諸君の誠意なる治療上の相談相手ともなりませう。治療時間午前八時より午後四時限り

ちゞれ毛

ドンナ頑強な毛でもヂキに直り皆さんが喜んでお金まで添へて禮の出る樣な效狀を下さる不思議のチヂレ毛直しを發見しましたから人助けのためにお知らせ致しますハガキ下さい詳しく書いて在る小冊子進呈致します 東京淺草山の宿町三十一 丁巳堂



慢性りん病 內服藥

石炭酸より誘導したる劇烈なる殺菌力を有し尿道組織の激變及び粘膜の炎症に應用して[illegible]殊に[illegible]に有効にして奏効迅速他の類似藥の及ばざる特長あり 製品見本無料進呈 大阪南區櫻川四丁目 藥製師 淺田藥局

一急告一 西洋特製 懷中時計賣出

今回歐洲より見本として五十ケ入荷に付半額の御買得品にて實用價格にて御報ひんたく候

甲 特價 七圓五十錢（十六形アンクル機械）
乙 特價 五圓五十錢（十六形アンクル機械）

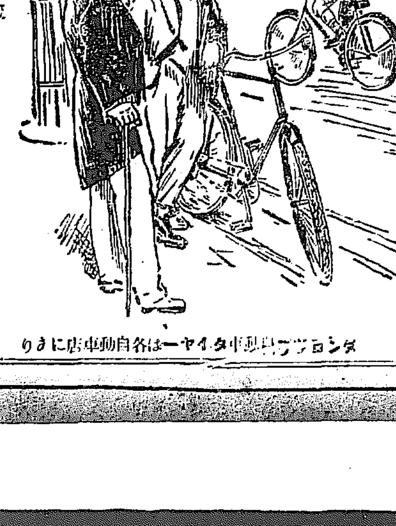
數に限りあり又となき好機品切とならぬうちに御注文を乞ふ 京城日報社代理部 電話六〇九番 振替京城[illegible]

織元から買へば呉服屋の半値段

元原價で五圓で買へる品も仲次、中央市場、問屋、呉服店と云ふ順に多數の手を經て需要者に渡る時は驚くべし織元原價の約倍額となる[illegible] 冬物出來 [illegible]

（品目・價格 [illegible]）

足利町は織物の大產地として[illegible] 栃木縣足利町 丸[illegible]



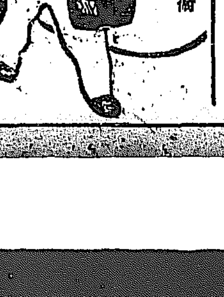
使用中故障の憂なく堅牢耐久にして結局最も安價となる點に於て ダンロップ 自轉車タイヤー は正しく凡ての需用者の理想と一致す 至る處の自轉車店にあり

ダンロップ[illegible]タイヤーは各自動車店にあり

●東京 ●笹屋製 三味線糸 京城明治町筋 尾琴屋 電話一二三五九番

金銀賞牌廿四個受領

タトヘ億万長者でも健康は絶對に金では買へぬ 只毎食前一杯づゝの美味滋養 蜂印香竄葡萄酒は メキ〱元氣健康を增進す 美味＝滋養＝濃厚 全く他品に卓越す 味つて見て下さい



東京本町 近藤利兵衞

齒科器械材料販賣 京城府本町四ノ一三三 朝鮮日新社 電話一七五八番 振替京城四七四八番

謹啓時下秋冷の候各位益々御清榮の段奉慶賀候扨て私共義從來清華亭經營中は格別の御引立を蒙り難有奉存候就ては今般都合により平井トク殿へ讓渡致候間何卒不相變御引立の程御願申上候 十月一日 大上カツ

謹啓時下秋高く馬肥ゆるの候各位益々御健勝の段奉慶賀候扨て清華亭義從來各位の御愛顧に依り[illegible]今般大上カツ殿都合により[illegible]引續き私に於て營業致候[illegible]何卒不相變御引立の程御願申上候 清華亭 平井トク

◎特約店募集 資金貸與法有

物價暴騰の今日一日も缺く事の出來ぬ百貨の商品を[illegible] 京城府若草町百六番地 西村商會 電話二〇一一番 振替口座京城六五九番

公債と新勸業債券と交換す

京日案內 富の道しるべ 山脇五十雄 村上唯吉 共著 定價十五錢 郵稅二錢 京城太平通 振替京城三〇〇 京日代理部

●各地方販賣部主任招聘 毎戶に缺くべからざる[illegible] 主任採用委細面談照會は返信料要す 黃金町三ノ二九一 實踐大道社

◎洋服職工至急入用 （水原驛前）電話一四三番 巴商會洋服店

有給外勤社員採用 新業に經驗ある人は特に優遇す 履歷書持參午前中來談 京城黃金町二ノ一 太平生命保險支部

●外勤社員數名採用 希望者は午前十時より午後四時迄履歷書持參ありたし 京城黃金町一 蓬萊生命朝鮮支部

朝鮮語科 三ヶ月修業 英語科 各級補缺募集 京城南大門通（漢城銀行向）京城青年會

魔法瓶及魔法瓶中瓶取替 京城本町一丁目電話一三四番 高木旅行用具店

妻の心 (百十一)

十八の二 小林蹴月作 武內桂舟畫

妻からも妾からも、唯一の寵愛であつた若龍の騎子からも、殆んご同一日に『ウツチヤリ』か『背負投』かは知らぬが、美事に十俵の外へ放り出されて、些少腰を落着けるべき場所にさへもトチ迷つた久三郎は、滿腹の鬱憤晴らすに由なく、切ては顔馴染の小龍を相手に、伊豫紋の一室に陣取る事は陣取つたが、素より愉快に酒の咽喉を通るべき筈はなかつた。併しながら、飲み出しては止め度のない彼は、何こかしてその不愉快さを忘れんが爲めであらう、絕え間なしに小龍に酌を急き立て、剩へ例の强い西洋酒までも取寄せて、醉へる丈け醉はうと試みたのである。

『可川の旦那、今日は貴郞何うか遊ばして被在りや爲なくつて?』

小龍は、姐さんの旦那と思へばこそ、內々心配を仕出した。

『何うも遊ばしちや居らんよ。幾ら飮んでも一向に醉はんまでの事さ。』

『そりや貴郞、若姐さんのお前ぢやありませんからね。一體何故今日は、姐さんと御一緒に在つしやらなかつたの。』

『は、は、は、若龍なんかはお前、疾うの昔に手を切つて了つたんだよ。』

『噓だわ、隨分な騷ぎをして、お落籍せになつた若龍姐さんと、僅二月や三月で手を切つてお了ひになるなんて、そんな事本統でも本統とは信じられませんとよ。』

『信じなければそれまでの話さ。けれども、本統のこつたから本統だと云ふより仕方がないやね。何うかね小龍、實はその後繼者がなくて困つてる處なんだが、西園寺さんの離した後へ、お前が原さんの資格で乘込む氣はないかね。』

『ほ、ほ、ほ、妾にはそんな難しい事分りませんわ。それに什うしても妾、本統とは思はれないんですもの。』

『だからお前達は、猜疑深くて不可んと云ふんだ。差當り今日はお前と廣小路で出會すなんて云ふのも何等かの因緣があるのに違ひないから、小龍お前の方さへ差支がなければ、是から二人で何處かへ出かけようぢやないか。』

『そりや妾は、願つたり叶つたりですけれども、後で若龍姐さんに知れたら、それこそ刄物道具ですからね。』

『は、は、はア、藝者でも義理を考へる中が可笑いね。』

『あら、そんな事被仰るもんぢやなくてよ。藝妓ほど義理の堅いものはありや爲ませんわ。』

『成程ね、藝者が義理堅くて、隨ころ餅は柔かいか……はツ、は、は、は。』

醉はないと云つても、分量の進むに連れて、久三郎は漸く駄洒落の一ツも弄するやうになつて來た。その癖、正午頃からの酒は、電燈の點く頃に及んでもまだ、充分と云ふ氣色はなかつた。

『小龍、出かけるには、好い時刻になつて來たね。お前新發して行つて見る氣はないのか。』

『何處へ行かうと被仰るんですよ。場所に依つてはお供爲ますわ。』

『場所は、お前の選擇に委せるよ。手近な所が好ければ根岸の邊か、左もなけりや寧その事田畑か……向島か。實はね、昨夜一晩暴風雨の爲めや何かで、一分間の熟睡もせんかつたので、成らう事なら何處か閑靜な所へ行つて、ゆつくりと頭腦を休息させたいと思ふのさ。』

『隨分、蟲の好い事を被仰るわね、貴郞がお頭腦を休息なさるのに、妾がお邪魔して行つたつて、反つてお邪魔になる丈けのことぢやありませんの。』

『いや、それが不思議でね。僕のお頭腦と云ふ奴は、側にお前のやうな嬋妍たるのが居らんと、什うしても落着いて休息出來んのだよ。さア、異議がないなら、俥を二挺命じとくべしだね。』

『本統にお俥を然う申すんですの。』

小龍は、まだ若龍に比べると餘程年齒も若いし、腕も縹緻も一段前とは行きかねるのであるが、それ丈に又、無邪氣であどけない所に妙味があるのである。腹では姐さんの旦那から揶揄はれるのであらうとは思ひながらも、つい云はるゝが儘に俥を命じて、伊豫紋を後に根岸の方面へと向つたのは、秋の日も既や黃昏過ぎの七時半頃であつた。

◎聯合軍の活躍 各戰線共に振ふ

▲西部戰線 八月八日以來の英軍[illegible]る聯合軍は一齊に活氣を呈しヒンデンブルグ線を突破し北海方面よりニユーポート、デイスムード、イ[illegible]惡く大敗に終り大體に於て獨軍は聯合軍の進出阻止に沒頭し漸く退却を免れつゝあるに過ぎず之に反し聯合軍[illegible]新攻擊を開始し頻りに獨軍を擊破せんと努力し又カムブレー、ドウエー間の英佛米聯合軍も盛んに[illegible]擊にして九月二十四日以來ヴエルダン西方より約九里に亘る戰線に於て攻勢に轉じ平均八哩半の前進[illegible]軍の攻勢と相俟ち如何なる進展を實現すべきか頗る注目に値せり

▲大敗餘波 獨軍第五次攻勢の失[illegible]を惹起せしむるに至りサロニカ戰線に在りし英佛塞希聯合軍は二十四日より攻勢に轉じ其一部はヴラ[illegible]侵入に喫驚し急に獨軍の救援を待し難き情況に在る勃國は戰局の將來を悲觀し遂にサロニカの聯合[illegible]ご全滅の悲運に遭遇し三十個師團と稱せられたる土國軍は現在僅に三四個師團を高加索南部に留むる[illegible]なれり此形勢を以てすれば聯合軍の前進は愈々光明に滿ると共に遂に[illegible]後の勝利を收むること疑ひなく

◎現代婦人の缺陷

▽經濟的觀念を養成せよ

今の婦人達が不時の場合に處する修養と經濟思想が缺けてゐるといふことは一般に認める事であります、其中でも特に經濟的の觀念に乏しい主婦が家計を執るにも唯收入と支出が並行すれば良いと云ふ考へ方をして居るのが多く不時の場合の方法を少しも考へません、尤も女學校で家事經濟を敎へるのにも、此れ迄月收何程の家庭經濟は斯うであると敎へても不時の

△經濟 に就ては少しも說いてありません、此れでは誠に不安定のものです、これからの婦人は勿論現在でも婦人に不時の場合に惑はぬ心を有つて、經濟思想を養はねばならぬと思ひます」いざ其場に直接當つてから、何うしようと考へるやうではなりません斯う云ふ事は今に初まつた事ではありませんが、妙なもので學校なり病院が丁度日露戰役前後には非常に志願者がありましたが又今年なども多いのです此をよく調べると戰爭と云ふ事に依つて不時の

△用意 を感じて何か一つの力あるものを得ようと云ふのです處が良く世間では婦人の職業に不贊成を云ふ方があります、婦人の職業は決して毎日の家事上で毫も不都合を及ぼすものでなく所謂藝は身を救くると云ふ諺の如く不時の場合に活用の出來るものですからに實に必要なものと思ひます其れから此間の米の騷擾にしても只だ困る〳〵と云つてばかりゐるは何の工夫も感きません斯ういふ時に科學の素養があつて先づお米の成分を知つて直ちに代用するものを考へます、次に感じて居るのは近年日本は

△武士 道の氣分が追々に薄らぐやうに思ひます、昔ほどの忠に厚い處もなく近頃の日本は活氣が拔けたかと思ひますがこれは僅に婦人のなす罪と思はれます、畢竟男子の大陸的氣分を亡くして了ふことです、此れは私の考へるのに西洋思想に依つて國家の觀念よりは夫婦關係が重んじられて來たからと思ひます、先づ何よりも夫婦圓滿を主としたのに依る事ですが此れが個人主義に傾いて來る爲めに往々婦人が男子の社會的の

△活動 を妨げる事になるのです此等が原因して日本の武士道氣分が衰へて來るのです、主婦としては何處迄も男子の社會的地位を高めさすやうに仕向けるのが眞實の務めです其れには男子をして安心して社會に働かす丈けのものがなければなりません

◎冬向きのオモチヤ

▽……今年の玩具の流行

▲呉服店の織物が冬向きに變るやうに子供を顧客にする玩具店の品物も此の頃は水遊び道具などと云ふやうな夏向きの物がスツカリ影を潛めてしまひました

▲男の子は日曜や大祭日に郊外へ遊びに行き野雀や鳥を打つ爲めにと空氣銃を求めます値段は一挺和製二圓五十錢前後舶來は十圓から十三四圓迄のがあります次にアルコールを焚いて車を廻す機械物の玩具が近來著しく喜ばれます之は工業の進步が子供の思想界にも及ぼした結果でせう一個一圓五六十錢から八九圓位迄あります

▲家庭向の玩具として男女の子供に共通なのは活動寫眞でせうフイルムは淺草其他市內の活動寫眞館で使つた物を賣るのです而して寫眞は主に風景とか西洋の芝居戰爭や飛行機などが多いやうです映寫される大きさは縱橫二尺角位の場面で人形は一尺位で御座います二圓五十錢位から十圓前後まで又フイルムは一尺七錢から十錢見當です洋式計數機は赤と白の球が五十個宛都合百個付いて居ります之は家庭に幼稚園或は小學一年生の子供に加算減算の練習をさせるに便利だと思ひます一面八九十錢以上二圓二三十錢尙人形とか寄せ木は相變らず勢力を占めて居ます

讀者の領分

▲本町○丁目角の小間物屋は足袋一足買ふにも店の者は六十錢と云ひ主人は內地から値上の電報が來たから六十錢では賣れぬ六十五錢だと云ひさうすると奧から內儀さんが出て來ていゝえ六十七錢賣りでなければ損をしますと云ふ風で遂々六十七錢拂ましたライオン齒磨一袋さへ六錢と云ひ十錢と云ひ又七錢五厘と云ひ何だか人を莫迦にした云ひ方をする不誠不親切極まる店だ正直な値段を云つて叱られる女店員こそいゝ面の皮だ(一顧客)

▲汽車で通學する中等學校の生徒で京仁線方面は大抵は科業の復習などして居るが京釜線(京元、京義線方面は知らず)方面に通る生徒は男女學生行儀しからざる樣に見受ける之れは二日午後五時十分大田發列車中の所見であるが隣席の四五名の袴に白線ある女學生は始終前のあられも無い事なのみ高聲に口走り高笑ひして乘客の耳を聳えしめ純朴な田舍の朝鮮人さへ其の座席を放つゝあつた其內に靜かになつたと思ふと縱に白線のある女學生は讀本を取出して耽讀し始め橫に白線のある女學生は橫臥して他人の迷惑も顧みない今度は高の字の帽章を附した八九名の鮮人學生が騷ぎ始め學校の校庭を駈け廻る態度で打つ蹴る押し合ふで隣近の乘客に子供を伴れた鮮婦人などは他に席は無しほと〳〵困じ果てゝ居た、之等男女學生の傍若無人の振舞は永登浦以南に於て激しくなるは何の故か學校當局者は斯くの有樣を精査して取締つて貰ひ度い公德心の缺乏した少年少女は軈て又公德心なき父母となつて其子弟に惡化を貽す留意すべき事にこそ(一旅行者)

新刊紹介 (到着順)

▲一休和尙(通俗敎育普及會編)雜談本の荒唐無稽を正して眞の一休上人を描きたる面白き讀物なり(八十錢東京麴町區飯田町五ノ二五通俗敎育普及會發行)

▲謠曲聲の出し方と假名扱ひ(藤森村著)第一章謠曲の選定第二章發聲の揃へ第三章聲節第四章入門者の心得その他第七章假名扱ひ法など初心の者に解り易く說述したる書なり(九十五錢東京麴町區飯田町三の九能樂通信社)

▲新時代(一周年記念號)杉中主幹の「時代大觀」、三瀦博士の「樂慾に向ふの罪」、若宮卯之助氏の「お種部落の精神」、青角常觀氏の「人心調節の上に」、朝野四十五名士の「現代は如何なる偉人を要求する乎」「如何にして國民の犧牲的精神を喚起せしむ乎」なる時弊に對する二問題に對する答稿あり其他硬軟兩派の記事豐富にして附錄には中京十四新聞社の組織と千數百餘名の記者社員の部屬表あり(東京芝區白金今里町新時代社)

牛乳 陸軍衛戍病院御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

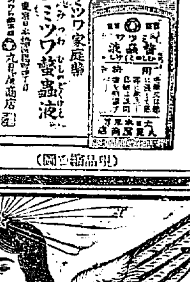
▲中外新論 記念革新號 文京張國第二年(寺崎小松原)戰局の逆轉と講和の提議(同)危險思想と危險思想(同)人口問題と國力の消長(建部博士)獨逸の彼岸と將來の巴爾幹(長瀨鳳輔)チエツクスロヴアツクの民族的運動(米田莊次郎)我教育制度の缺陷(大島博士)世事人事 中外雜爼 米價騷動審判香齋(甘名家)大雜誌 徐世昌(四名家)古人今人(漱石と露花)浮世風(マチナ)京都市疑獄事件(石川半山)名士と記者(紅風閣主人)卷煙草哲學(青柳有美)創作二篇(小劍、役子)その他(三十五錢東京芝愛宕下町二の二中外社)

▲書道研究(一六二)小野鵞堂氏の主幹せる雜誌にして古人の筆蹟を和紙に印刷し參考手本として楷行草假名手紙等の手本數枚を挿めるが小野鵞堂氏の書精は世間に類少なきものならん臨書の仕方、料紙の研究、假名の研究、習作文、作歌法、十月の手紙等(三十錢、東京神田猿樂町三の一斯華會)

▲婦人畫報(十月號)池田伯爵令嬢二頁大美人繪を附錄となし寫眞版十葉讀物には澤田撫松博士及び長田秀雄、菊池幽芳氏の小說『須磨子』外數十項を收む(全拾五錢市內各書店にて取扱ふ)

▲婦人之友十月號は『世態人情號』と題し羽仁主筆の社說には生活低下主義の危を叙しその解決を與へ十五人の成功及び失敗したる夫婦の實例は實に偽らざる告白にして世態人情の機微を穿てり其他德田秋聲の小說及び實用的記事を滿載し食料問題など紙面豐富なり(二十三錢)東京雜司ケ谷 婦人之友社發行

旅行の場合何人も必ず携帶すべき
◎ミツワ螢蟲液(むしのどくけし) 一壜金二十錢 內地以外は小包稅運賃を加ふ

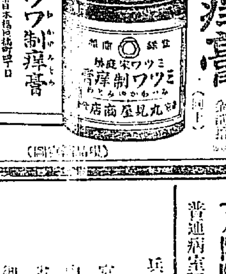


(現品縮寫の圖)

適應症候 蜂、虻、蚊、蚤、虱、蚋、蟻、南京蟲、毛蟲、蜈、蛇等總て蟲類に刺された場合

蜂、虻、蚋、蟻、虱、床蟲、毛蟲、蜈、蛇等總て蟲類に螫された時、直に本劑を塗ると、其の蟲類の毒を消して、腫の深くならぬやうにし、疼痛や痒みを鎭め、炎症を抑へ、防腐消毒の効驗を現はすのである、それ故誰でも本劑を常に備へ置くべきは勿論のこと、旅行殊に未開の地へ行く際には必ず携帶して蟲類に螫されたる虞なく之を塗用しなければならぬ、小蟲に螫された位恐れることはないと侮つて居ると、意外の害を釀すから何でも蟲類に螫されたら、直に本劑を塗るに限る。

制痒の効著しく繃帶の要なき糊膏
◎ミツワ制痒膏 小函入金拾錢 (同上)

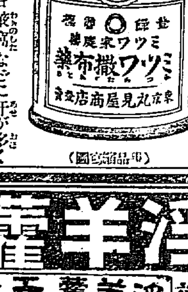


(現品縮寫の圖)

適應症候 皮膚瘙痒症、汗疹、水蟲、濕疹、蕁麻疹、凍瘡、火傷、疥癬、皮膚爛、頑癬、痔疾、痲風、禿瘡、田蟲、及び蚊蟲類に刺された場合

本劑は瘙痒を止めるのが目的であつて汗疹や水疱、又膿疱が出來、ジク〳〵濕つてたまらぬ濕疹、四肢の伸側に瘙痒を感ずる痒疹、肛門や陰部の皮膚に瘙痒のある小さい水疱や疥疹、足の趾の間に小さな水疱が出來て痒い場合、其の他ある蕁麻疹、火傷、凍瘡、皮膚炎、汗疹、蟲類及び魚類に刺された場合には本劑を塗るに限る。本劑は普通の膏藥と違ひ清潔で粘着かず、繃帶する要が無く、至極便利なものである。

乳兒を養育する際缺く可からざる
◎ミツワ撒布藥(ただれごめ) 紙函入 小 金十錢 大 金廿錢 (同上)



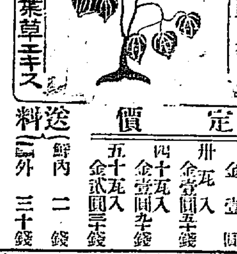
(現品縮寫の圖)

適應症候 汗疹、手汗、足汗、多汗症、腋臭、表皮剝脫、皮膚擬爛、皮脂漏、痤瘡、蕁麻疹、濕疹

種々の病症の爲に、皮膚が剝けたり爛れたりした場合。四季に拘はらず手掌或は足蹠或は腋窩などに汗が多く出て、心地惡く、而も嫌な臭氣を發する症、皮膚から脂肪の多く出過ぎる皮脂漏、それが原因となりて出來る痤瘡、蕁麻疹、汗疹などには、內容明示の本劑を用ふるに限る。殊に乳兒に在つては頸や腋窩及陰部の附近から、分泌物などの爲に、紅く爛れることが屢々あるから、入浴させた後には勿論のこと、時々湯で清潔に拭いて、本劑を撒布しなければならぬのである。

發賣品目錄御申越次第送呈 ミツワ石鹸本舖 東京馬喰町 丸見屋商店

淫羊藿エキス

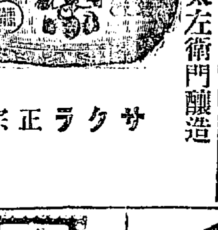


主効 一、神經衰弱症 一、貧血 一、胃腸病 一、腦病 一、生殖器病 一、リウマチス病 一、ヒステリー 一、ヒポコンデリー 一、老衰 一、精力減退

定價 廿瓦入 金壹圓 卅瓦入 金壹圓五十錢 四十瓦入 金壹圓九十錢 五十瓦入 金貳圓三十錢
送料 鮮內 二錢 鮮外 三十錢

全國一手販賣 京城日報社代理部 朝鮮京城府大平通一丁目 電話長六〇〇九番ノ三 振替貯金口座京城三〇八番
京城特約店 山岸天佑堂
京城特約店 北島支店

資本金壹千萬圓 頭取 安田善三郎
京城本町壹丁目 株式會社百三十銀行京城支店
電話長五八番 一九四番 振替貯金京城一一三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有

宮內省御用達

サクラ正宗
兵庫縣灘魚崎 山邑太左衛門釀造
櫻正宗發賣元 京城明治町二丁目 山邑京城支店
電話長八四九番 一四五四番 振替貯金口座京城七五番

京城西小門町二一番地 田中丸病院
院長 醫學士 田中丸治平
副院長 醫師 上野和夫
電話八八五番
【入院隨意】普通病室隔離病室の設備あり

クセニナラズ よくつうじる
建通丸
十日の便秘も一服で治る其快さ!
各藥店にあり 十錢以上
合資會社 參天堂

內科 眼科 小兒科 京城黃金町三丁目赤門通(電車停留所前) 本田醫院
院長 本田建義
附屬 京城肛門病痔疾療院 入院隨意 電話二四四二番 振替京城三二八番
肛門病痔疾特種注射根治療法解說書入用の方郵券三錢要

りん病 ばい毒 百圓進呈 大阪ドラッグ商會
帝國醫科大學病院 … 分析料百圓進呈
にせ物 東京其他各地ににせドラッグあり 大阪有田 御買取あれ
◎にせ物と好商 通貨でも僞造する惡奸ある世の中だから止むを得ざる訳なれど我商會同樣の看板を掲げ寸分違はぬにせ物を賣る奸商が東京初め各地に簇出し無効の藥劑を販賣せり我商會は大阪朝日東京報知東京時事其他全國の大新聞と特約し廣告するも何分盲目千人の世の中にせ物と知らずして買ふ人あり我商會製劑御買求の方は大阪有田製藥を御買取あれ
(京城)南大門外 ドラッグ商會 黃金町三丁目 ドラッグ商會
京城龍山等各地に僞物あり御注意
大阪 三休橋 ドラッグ商會 京城南大門外停車場通

最上醬油 朝鮮仁川府 高杉醬油釀造場

◎日本郵船仁川出帆
相模丸 大連、天津牛莊行 九月 日
酒田丸 … 九月十二日正午出帆
高砂丸 … 九月廿七日正午出帆
仁川海岸町二丁目(電話十番) 郵船 回漕部

朝鮮郵船出帆廣告
天候船繰等ノ爲メ發着日時變更スル場合有之候ニ付詳細ハ本社又ハ各地支店出張所代理店ニツキ御承合被下度候
▲敦賀行 清津發、城津、元山、釜山經由 平安丸 十月三日 清津發 十月五日 元山發
▲浦汐行 大阪發門司、釜山、元山、城津經由 越後丸 十月十三日 釜山發 十月十五日 元山發
▲雄基行 關門發釜山、各港經由(×印江原道寄港セズ) ×京畿丸 十月十二日 釜山發 十月十五日 元山發 成鏡丸 十月七日 釜山發 十月十一日 元山發
▲元山雄基線 元山起點各港經由雄基 穩城丸 十月九日 元山發
▲大阪行 關門神戶經由 忠淸丸 十月十八日 元山發 十月二十日 釜山發
▲關門行 雄基發、淸津、城津、元山、各港經由 ×忠淸丸 十月三日 元山發 十月五日 釜山發 雄基丸 十月十二日 元山發 十月十六日 釜山發
▲金剛山遊覽便 元山發長箭經由 穩城丸 十月六日 元山發
▲鬱陵島行 釜山發浦項及各地經由 盈德丸 十月八日 釜山發
▲釜山浦項線 釜山發長生浦、方魚津、九龍浦經由浦項 相互每日一回出帆
▲濟州島行 釜山發長水通、麗水、巨文島經由 昌平丸 十月八日 釜山發
▲濟州島行 木浦發 東廻 興丸 十月六日 木浦發 西廻 公州丸 十月九日 木浦發
▲釜山麗水線 釜山、麗水間往復每日一回出帆
▲木浦麗水線 木浦麗水間 順天丸 十月四日 木浦發
▲多島海行 木浦發多島海各島行 公州丸 十月十四日 木浦發
▲木浦行 仁川發各地經由 全州丸 十月五日 仁川發
▲海州行 仁川發 海州相互每日一回出帆
▲鎭南浦行 仁川發各港經由 田島丸 十月九日 仁川發
▲大連、靑島行 仁川發芝罘經由 江原丸 十月六日 仁川發
○朝鮮隣近及社外船ト荷客連絡ノ便アリ
本社 京城南大門通(電話長一九五二 二一三三)
釜山佐藤町 釜山支店
元山海岸通 元山出張所
仁川代理店 堀回漕部
木浦代理店 山野回漕部
京城荷扱所 京城南大門驛前 松原運送店
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ

尼崎汽船仁川出帆
大阪行直行 赤城丸 十月十日後四時出
群山木浦下ノ關大阪行 大有丸 十月六日後四時出
群山木浦下ノ關大阪行 君が代丸 月 日後四時出
仁川海岸通二丁目(電話五九番) 高杉回漕部

大阪商船汽船出帆
(仁川出帆)
群山大阪行 安東丸 十月 日 正午出
×木浦大阪行 信濃川丸 十月三日 正午出
(元山出帆)
●淸津行 宮島丸 十月五日 後十二時
●釜山門司、宇品、神戶、大阪行 安平丸 十月三日 後九時出
(大連出帆)
●上海、基隆、打狗行 湖北丸 十月十九日 前六時出
●北陸丸 十月 日 後六時出
內地各港出帆ノ主要航路
歐洲行 一年四回 北米行 每月一回
南米行 一年四回 孟買行 每月一回
濠洲行 每月一回 南洋行 每月二回
御注意 ◎外國航路 [illegible]
東京、大阪、神戶 [illegible] 仁川 本町 [illegible] 大阪商船株式會社仁川支店 電話二一〇、五五〇番